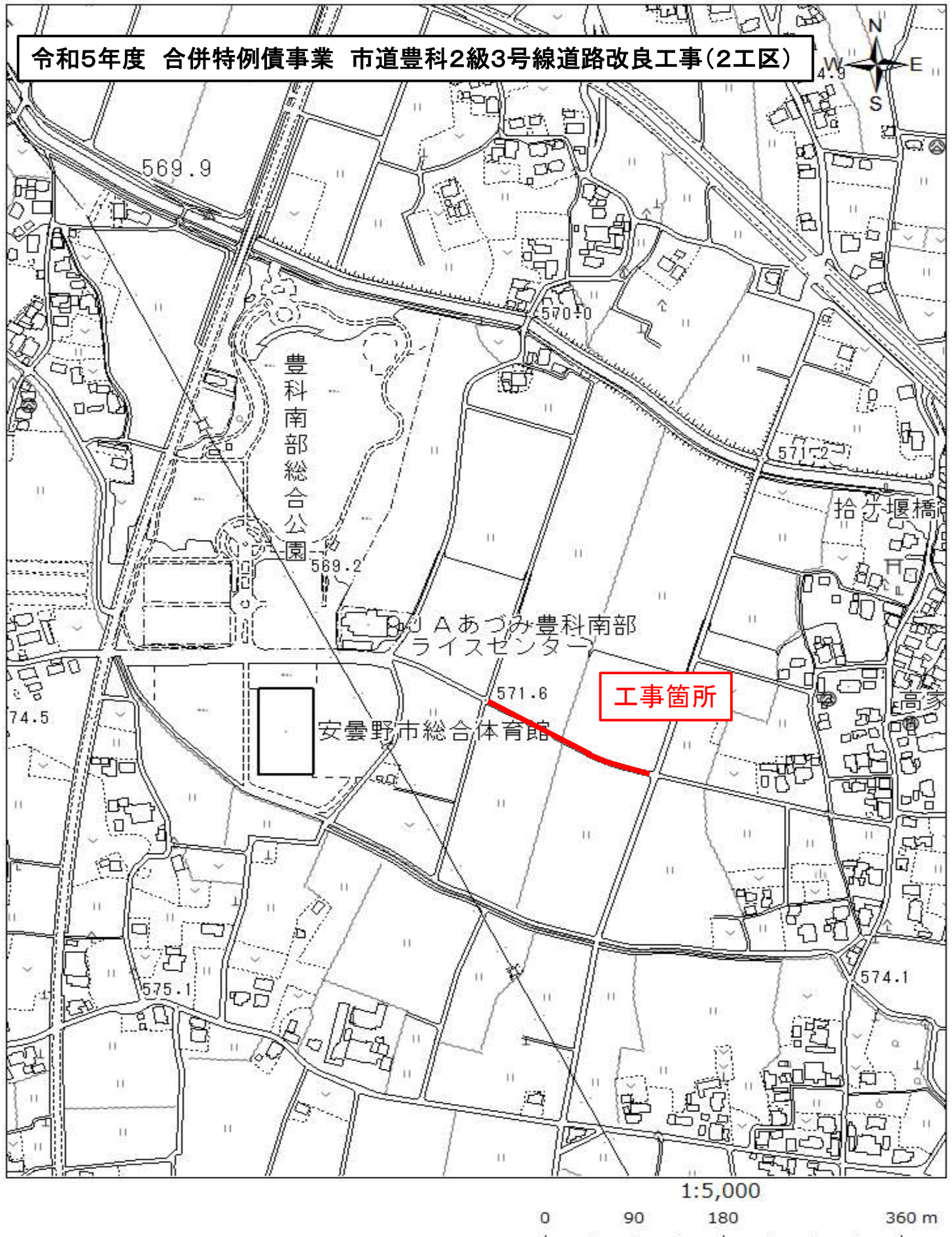


位置図

令和5年度 合併特別債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)



特 記 事 項

工事名：令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事（2工区）

箇所名：安曇野市 豊科高家

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

2 工期関係

工期は、契約日から令和6年3月22日とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含まれている。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 残土・廃棄物関係

(1) 本工事の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下表の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

搬出先を変更する場合は、協議すること。

(2) 建設発生土

【 参考 】

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
松本マテリアル(株)	指定	2.4km	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名	清水口建設(株)	距離	3.7	km
			数 量	78 (t)	・	m ³	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	清水口建設(株)	距離	3.7	km
			数 量	1 (t)	・	m ³	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名	清水口建設(株)	距離	3.7	km
			数 量	13 (t)	・	m ³	
	二次 製品	再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離	12.0	km
			数 量	3 (t)	・	m ³	
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
その他（金属クズ他）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（Ａ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ表）の写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名 住 所		許可番号		
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名 住 所		許可番号		
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様

安曇野市文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関への周知、協議を行うこと。
通知文は協議書で提出し決裁が済んでから周知を行うこと。
- 二 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 三 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。
 - (ア) 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙-5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
 - (イ) (1) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
 - (ウ) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上としている。
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
 - (エ) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行いません。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。
なお、当初設計で計上されていた場合も、受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合などについては、費用の全額を減額する。
- 四 本工事では、週休2日工事を当初設計にて計上している。
週休2日工事の達成状況によって変更を行う。
- 五 工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- 六 工事期間中は、基本全面車両通行止めを想定しているため、巡回路を選定すること。
- 七 工事区間は、豊科南中学校の通学路となっているため、歩行者には細心の注意を払い施工を行うこと。
- 八 工事に合わせ電柱の移転作業を行うため、監督員と協議の上、施工計画を行うこと。
- 九 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 十 本工事は、工事成績評定の対象工事とする。
- 十一 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和元年8月1日適用

資材単価等について

令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和5年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

数 量 集 計 表

工 種	項 目	規 格 等	数 量	設 計	単位	摘 要
道路改良 道路土工 土 工						
	機械掘削		902.4	900	m3	
	機械埋戻(発生土)	W<1.0	24.9	30	m3	
	路床盛土(発生土)	W<2.5	3.9	4	m3	
	残土運搬	運搬距離2.4km	876.5	880	m3	
	残土処分		1,051.8	1,050	m3	
	基面整生		78.5	80	m2	
取壊し工	AS	舗装版切断	AS舗装 t=4cm	30.1	30	m
		舗装版破砕	AS舗装 t=4cm	847.4	850	m2
		廃材運搬	AS舗装 運搬距離3.7km	33.9	34	m3
		廃材処分	AS舗装	78.0	78	t
	二次製品	97・100	ベンチフリューム 600型	8.0	8	m
		99	トランジションフリューム 700型	2.0	2	m
		106	田面排水柵	2.0	2	基
		廃材運搬	二次製品 運搬距離12.0km	1.1	1	m3
	鉄筋CO	廃材処分	二次製品	2.6	3	t
		98	ヒューム管 Φ700	5.1	5	m
		廃材運搬	鉄筋 運搬距離3.7km	5.1	5	m3
		廃材処分	鉄筋	12.8	13	t
	無筋CO	106	重力式擁壁	0.3	0.3	m3
		廃材運搬	無筋 運搬距離3.7km	0.3	0.3	m3
		廃材処分	無筋	0.7	1	t
擁壁工	L型擁壁	H=1.2	1.5	2	m	
		H=1.3	2.2	2	m	
	3型擁壁	H=0.35	1.0	1	m	

工 種	項 目	規 格 等	数 量	設 計	単位	摘 要
排水工	自由勾配側溝	土留用300×600	2.5	3	m	
		縦断用300×300	38.0	38	m	
		縦断用300×400	49.2	49	m	
		縦断用300×500	23.4	23	m	
	インバートコンクリート	18-8-25BB	3.6	4	m3	
	コンクリート甲蓋	300型用 L=500	91.1	91	枚	
	グレーチング	300型・縦断用	11.3	11	枚	
	ボックスカルバート	700×700	10.5	11	m	
	ベンチフリューム	700型	2.0	2	m	
	トランジションフリューム	700型	2.0	2	m	
	台付管	Φ300	13.6	14	m	
	小口止め工	1型小口止め	300×300用 H=490	2	箇所	
	集水枳工	37型枳	400×600×650 CO=0.31m3	1	箇所	
排水・掛け口		グレーチング	400×600 T-25	1	枚	
		39型枳	900×900×1200 CO=1.16m3	1	箇所	
		グレーチング	900×900 T-20	1	枚	
		40型枳	1400×1400×800 CO=0.98m3	1	箇所	
		42型枳	400×600×750 CO=0.32m3	1	箇所	
		グレーチング	400×600 T-25	1	枚	
		田排水枳	1型	2	基	
		高密度ポリエチレン管	Φ150	3	m	
養生工	一般養生	ベースコンクリート・インバートコンクリート	32.36	32	m3	
道路付属構造物工	組合せL型側溝	1型	6.0	6	m	
	組合せL型側溝	2型	3.6	4	m	
	歩車道境界ブロック	1型	114.2	114	m	
	地先境界ブロック		9.0	9	m	
	道路標識設置	交差点警戒標識 付け替え	1.0	1	枚	

工 種	項 目	規 格 等	数 量	設 計	単位	摘 要
区画線工	外側線(機・労のみ)	ペイント式 W150	374.4	374	m	
	外側線(材料費のみ)	ペイント式 W150	1,500.0	1,500	m	
舗装工	車道部	不陸整正	1,151.2	1,150	m2	
		安定処理工	再生クラッシャーラン40 t=39cm	1,218.8	1,220	m2
		下層路盤工	再生クラッシャーラン40 t=19cm	1,218.8	1,220	m2
		上層路盤工	密粒度調整砕石M-40 t=15cm	1,220.0	1,220	m2
		表層工	再生密粒度アスコン20F t=5cm	1,223.6	1,220	m2
	歩道工	不陸整正	410.9	411	m2	
		凍上抑制工	再生クラッシャーラン40 t=15cm	248.3	248	m2
		路盤工	再生クラッシャーラン40 t=10cm	405.5	406	m2

土 量 計 算 書

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土		掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土			掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土	
ANO.31+11.5 631.50	4.4	0.1	0.1		—	—	—		—	—	—	—	
ANO.31+16.0 636.00	3.3	0.1	0.2		3.85	0.10	0.15		4.5	17.3	0.5	0.7	
ANO.32 640.00	3.3	0.1	0.2		3.30	0.10	0.20		4.0	13.2	0.4	0.8	
ANO.33 660.00	4.0	0.2	0.0		3.65	0.15	0.10		20.0	73.0	3.0	2.0	
ANO.34 680.00	4.8	0.2			4.40	0.20			20.0	88.0	4.0		
ANO.35 700.00	5.4	0.2			5.10	0.20			20.0	102.0	4.0		
ANO.36 720.00	5.6	0.2			5.50	0.20			20.0	110.0	4.0		
ANO.37 740.00	5.5	0.3			5.55	0.25			20.0	111.0	5.0		
ANO.37+9.77 749.77	4.4	0.0			4.95	0.15			9.8	48.5	1.5		
ANO.38 760.00	4.4				4.40				10.2	44.9			
ANO.3.8+10.06 770.06	4.7				4.55				10.1	46.0			
ANO.39 780.00	4.8				4.75				9.9	47.0			
ANO.39+10.34 790.34	4.8				4.80				10.3	49.4			
小 計									158.8	750.3	22.4	3.5	

土 量 計 算 書

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土		掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土			掘 削	埋戻(W<1.0)	路床盛土	
ANO.39+10.34 790.34	4.8				—				—	—			
ANO.40 800.00	4.7				4.75				9.7	46.1			
ANO.40+15.6 815.60	4.8				4.75				15.6	74.1			
ANO.41+0.04 820.04	9.7				7.25				4.4	31.9			
小 計									29.70	152.1			
合 計									188.5	902.4	22.4	3.5	

土 量 計 算 書

機械掘削	(バックホウ0.80m ³)				902.4					(a)	=	902.4	
路床盛土(発生土)	(バックホウ0.80m ³)	W<2.5			3.5			×	1/	(締固めによる変化率) 0.90	(b)	=	3.9
機械埋戻し	(バックホウ0.80m ³)	W<2.5			22.4			×	1/	(締固めによる変化率) 0.90	(c)	=	24.9
残土運搬					902.4	—		3.5	—	22.40	(d)	=	876.5
残土処分					876.5			×		(締固めによる変化率) 1.20	(f)	=	1,051.8

基 面 整 正 面 積 計 算 書

測 点	幅		平 均		距 離	面 積		摘 要
ANO.31+11.5 631.50	0.3		—		—	—		
ANO.31+16.0 636.00	0.7		0.50		4.5	2.3		
ANO.32 640.00	0.7		0.70		4.0	2.8		
ANO.33 660.00	0.7		0.70		20.0	14.0		
ANO.34 680.00	0.7		0.70		20.0	14.0		
ANO.35 700.00	0.7		0.70		20.0	14.0		
ANO.36 720.00	0.7		0.70		20.0	14.0		
ANO.37 740.00	0.7		0.70		20.0	14.0		
ANO.37+9.77 749.77	0.0		0.35		9.8	3.4		
合 計						78.5		

取 壊 し 構 造 物 数 量 計 算 書

名 称	品 種	形状・寸法等					備 考
取壊し工							
	舗装版切断	アスファルト	t=4cm	L=	13.29+16.81	= 30.1 m	
	舗装版破碎	アスファルト	t=4cm	L=		847.4 m2	
	AS廃材運搬	アスファルト		V=	847.4×0.04	= 33.9 m3	
	AS廃材処分	アスファルト		V=	33.9×2.3	= 78.0 t	
	二次製品						
	97・100	ベンチフリューム	600型	L=		8.0 m	V=0.68m3
	99	トランジションフリューム	700型	L=		2.0 m	V=0.31m3
	106.0	田面排水柵		n=		2.0 基	V=0.06m3
	CO廃材運搬	二次製品	(無筋運搬)	V=	0.68+0.31+0.06	= 1.1 m3	
	CO廃材処分	二次製品		V=	1.10 × 2.35	= 2.6 t	
	鉄筋CO						
	98	ヒューム管	Φ700	L=		5.1 m3	
	CO廃材運搬	鉄 筋		V=		5.1 m3	
	CO廃材処分	鉄 筋		V=	5.1 × 2.50	= 12.8 t	

[illegible]

舗装版破碎計算書

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	舗装版破碎				舗装版破碎					舗装版破碎			
ANO.31+11.5 631.5	8.53				—	—	—	—	—	—	—	—	—
ANO.31+16.0 636.0	4.71				6.62				4.5	29.8			
ANO.32 640.0	4.71				4.71				4.0	18.8			
ANO.33 660.0	4.21				4.46				20.0	89.2			
ANO.34 680.0	4.30				4.26				20.0	85.2			
ANO.35 700.0	4.27				4.29				20.0	85.8			
ANO.36 720.0	4.47				4.37				20.0	87.4			
ANO.37 740.0	4.43				4.45				20.0	89.0			
ANO.37+9.77 749.8	4.24				4.34				9.8	42.5			
ANO.38 760.0	4.09				4.17				10.2	42.5			
ANO.38+10.06 770.1	4.10				4.10				10.1	41.4			
ANO.39 780.0	4.23				4.17				9.9	41.3			
ANO.39+10.34 790.3	4.13				4.18				10.3	43.1			
ANO.40 800.0	4.26				4.20				9.7	40.7			
小 計									168.5	736.7			

舗装版破碎計算書

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	舗装版破碎				舗装版破碎					舗装版舗装			
ANO.40 800.0	4.26				—	—	—	—	—	—	—	—	—
ANO.40+15.6 815.6	4.71				4.49				15.6	70.0			
ANO.41+0.04 820.0	13.78				9.25				4.4	40.7			
小 計									20.0	110.7			
合 計									188.5	847.4			

擁壁構造物数量計算書

[illegible]

排水構造物数量計算書

名 称	品 種	形状・寸法等			備 考
排水工					
土留用	自由勾配側溝	標準用300×600		$L=(720.09 \sim 721.01)=1.0$ (実)	m
				$L=(722.39 \sim 723.47)=1.5$ (実)	m
				計 2.5	m
縦断用	自由勾配側溝	標準用300×300		$L=(635.10 \sim 667.10)=32.0$	m
				$L=(719.11 \sim 725.11)=6.0$	m
				計 38.0	m
		標準用300×400		$L=(667.10 \sim 716.30)=49.2$	m
		標準用300×500		$L=(726.01 \sim 749.62)=23.4$ (実)	m
				300型合計 113.1	
	インバート	18-8-25BB		$V=3.42 \times 1.06=3.63$	m3
	コンクリート蓋	300型		$n=(113.1/2-11) \times 2=91.1$	枚
	グレーチング蓋	300型・縦断用		$n=113.1/10=11.3$	枚
	ボックスカルバート	700×700		$L=10.5$	m
	ベンチフリューム	700型		$L=2.0$	m
	トランジションフリューム	700型		$L=2.0$	m
	台付管	Φ300		$L=6.6+7.0=13.6$	m
小口止め工	1型小口止め	300×300用	H=490	$n=2.0$	箇所

[illegible]

自由勾配側溝インバートコンクリート工計算書

位 置	インバート厚	平均インバート厚	幅	距 離	体 積	摘 要
(m)	(t)	(t)	(B)	(m)	(m ³)	
ANO. 31+15. 1 635. 10	0. 10	—	0. 30	—	—	
ANO. 32 640. 00	0. 09	0. 10	0. 30	4. 90	0. 15	
ANO. 32+5. 9 645. 90	0. 08	0. 09	0. 30	5. 90	0. 16	
ANO. 33 660. 00	0. 06	0. 07	0. 30	14. 10	0. 30	
ANO. 33+7. 1 667. 10	0. 05	0. 06	0. 30	7. 10	0. 13	
ANO. 33+7. 1 667. 10	0. 15	—	0. 30	—	—	
ANO34 680. 00	0. 13	0. 14	0. 30	12. 90	0. 54	
ANO. 35 700. 00	0. 11	0. 12	0. 30	20. 00	0. 72	
ANO. 35+2. 5 702. 50	0. 10	0. 11	0. 30	2. 50	0. 08	
ANO35+16. 3 716. 30	0. 08	0. 09	0. 30	13. 80	0. 37	
ANO. 35+19. 11 719. 11	0. 10	—	0. 30	—	—	
ANO. 36+5. 11 725. 11	0. 05	0. 08	0. 30	6. 00	0. 14	
小 計					2. 59	

自由勾配側溝インバートコンクリート工計算書						
位 置	インバート厚	平均インバート厚	幅	距 離	体 積	摘 要
(m)	(t)	(t)	(B)	(m)	(m ³)	
ANO. 36+6. 01 726. 01	0. 08	—	0. 30	—	—	
ANO. 36+17. 5 737. 50	0. 12	0. 10	0. 30	11. 49	0. 34	
ANO. 37 740. 00	0. 12	0. 12	0. 30	2. 50	0. 09	
ANO. 37+9. 62 749. 62	0. 15	0. 14	0. 30	9. 62	0. 40	
小 計					0. 83	
合 計					3. 42	

一 般 養 生 計 算 書						
工 種	名 称	品 種	単 位 数 量	延 長	無筋構造物 鉄筋構造物 小型構造物	備 考
排水工	基礎コンクリート	土留用 300×600	0.43	2.5	1.08	
		縦断用 300×300	0.25	38.0	9.50	
		縦断用 300×400	0.25	49.2	12.30	
		縦断用 300×500	0.25	23.4	5.85	
	インバート				3.63	
					合計	32.36 m ³

道路付属構造物数量計算書

[illegible]

舗 装 計 算 書 (車 道 部)

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表 層 工	安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表 層 工		安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表層 工
ANO.31+11.5 631.5	7.25	7.25	7.25	7.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ANO.31+16.0 636.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.83	6.83	6.83	6.83	4.5	30.7	30.7	30.7	30.7
ANO.32 640.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	4.0	25.6	25.6	25.6	25.6
ANO.33 660.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	20.0	128.0	128.0	128.2	128.2
ANO.34 680.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	20.0	128.0	128.0	128.2	128.2
ANO.35 700.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	20.0	128.0	128.0	128.2	128.2
ANO.36 720.0	6.22	6.22	6.22	6.41	6.31	6.31	6.32	6.41	20.0	126.2	126.2	126.4	128.2
ANO.37 740.0	6.41	6.41	6.41	6.41	6.32	6.32	6.32	6.41	20.0	126.4	126.4	126.4	128.2
ANO.37+9.77 749.8	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	9.8	62.8	62.8	62.8	62.8
ANO.38 760.0	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	10.2	65.4	65.4	65.4	65.4
ANO.38+10.06 770.1	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	10.1	64.7	64.7	64.7	64.7
ANO.39 780.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41	9.9	63.5	63.5	63.5	63.5
ANO.39+10.34 790.3	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	10.3	65.9	65.9	66.0	66.0
ANO.40 800.0	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	9.7	62.1	62.1	62.2	62.2
小 計									168.5	1,077.3	1,077.3	1,078.3	1,081.9

舗 装 計 算 書 (車 道 部)

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表 層 工	安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表 層 工		安定処理工	下層路盤工	上層路盤工	表層 工
ANO.40 800.0	6.40	6.40	6.41	6.41	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ANO.40+15.6 815.6	6.40	6.40	6.41	6.41	6.40	6.40	6.41	6.41	15.6	99.8	99.8	100.0	100.0
ANO.41+0.04 820.0	12.55	12.55	12.55	12.55	9.48	9.48	9.48	9.48	4.4	41.7	41.7	41.7	41.7
小 計									20.0	141.5	141.5	141.7	141.7
合 計									188.5	1,218.8	1,218.8	1,220.0	1,223.6

舗装計算書（車道部）

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	不陸整正				不陸整正					不陸整正			
ANO.31+11.5 631.5	7.3				—				—	—			
ANO.31+16.0 636.0	6.4				6.85				4.5	30.8			
ANO.32 640.0	6.4				6.40				4.0	25.6			
ANO.33 660.0	6.0				6.20				20.0	124.0			
ANO.34 680.0	6.0				6.00				20.0	120.0			
ANO.35 700.0	6.1				6.05				20.0	121.0			
ANO.36 720.0	6.2				6.15				20.0	123.0			
ANO.37 740.0	5.9				6.05				20.0	121.0			
ANO.37+9.77 749.8	5.9				5.90				9.8	57.8			
ANO.38 760.0	5.9				5.90				10.2	60.2			
ANO.38+10.06 770.1	5.9				5.90				10.1	59.6			
ANO.39 780.0	5.9				5.90				9.9	58.4			
ANO.39+10.34 790.3	5.9				5.90				10.3	60.8			
ANO.40 800.0	5.9				5.90				9.7	57.2			
小 計									168.5	1,019.4			

舗装計算書（車道部）

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	不陸整正				不陸整正					不陸整正			
ANO.40 800.0	5.9				—	—	—	—	—	—	—	—	—
ANO.40+15.6 815.6	5.8				5.85				15.6	91.3			
ANO.41+0.04 820.0	12.6				9.20				4.4	40.5			
小 計									20.0	131.8			
合 計									188.5	1,151.2			

舗装計算書（歩道部）

No. 1

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	不陸整正	凍上抑制工	路盤工		不陸整正	凍上抑制工	路盤工			不陸整正	凍上抑制工	路盤工	
ANO.31+11.5 631.5	2.2	2.19	2.17		—	—	—		—	—	—	—	
ANO.31+16.0 636.0	2.2	2.19	2.17		2.20	2.19	2.17		4.5	9.9	9.9	9.8	
ANO.32 640.0	2.2	2.19	2.17		2.20	2.19	2.17		4.0	8.8	8.8	8.7	
ANO.33 660.0	2.2	2.19	2.17		2.20	2.19	2.17		20.0	44.0	43.8	43.4	
ANO.34 680.0	2.2	2.19	2.17		2.20	2.19	2.17		20.0	44.0	43.8	43.4	
ANO.35 700.0	2.2	2.18	2.17		2.20	2.19	2.17		20.0	44.0	43.8	43.4	
ANO.36 720.0	2.2	2.18	2.17		2.20	2.18	2.17		20.0	44.0	43.6	43.4	
ANO.37 740.0	2.2	2.19	2.17		2.20	2.19	2.17		20.0	44.0	43.8	43.4	
ANO.37+9.77 749.8	2.2	0.00	2.17		2.20	1.10	2.17		9.8	21.6	10.8	21.3	
ANO.38 760.0	2.2		2.17		2.20		2.17		10.2	22.4		22.1	
ANO.38+10.06 770.1	2.2		2.17		2.20		2.17		10.1	22.2		21.9	
ANO.39 780.0	2.2		2.17		2.20		2.17		9.9	21.8		21.5	
ANO.39+10.34 790.3	2.2		2.17		2.20		2.17		10.3	22.7		22.4	
ANO.40 800.0	2.2		2.17		2.20		2.17		9.7	21.3		21.0	
小 計									168.5	370.7	248.3	365.7	

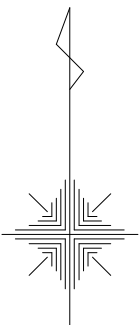
舗 装 計 算 書 (歩 道 部)

No. 2

測 点	横 断 面 積				平 均 横 断 面 積				距 離	体 積			
	不陸整正	凍上抑制工	路盤工		不陸整正	凍上抑制工	路盤工			不陸整正	凍上抑制工	路盤工	
ANO.40													
800.0	2.2		2.17		—	—	—		—	—	—	—	
ANO.40+15.6													
815.6	2.2		2.17		2.20		2.17		15.6	34.3		33.9	
ANO.41+0.04													
820.0	0.5		0.48		1.35		1.33		4.4	5.9		5.9	
小 計									20.0	40.2		39.8	
合 計									188.5	410.9	248.3	405.5	

平面図 S=1:500

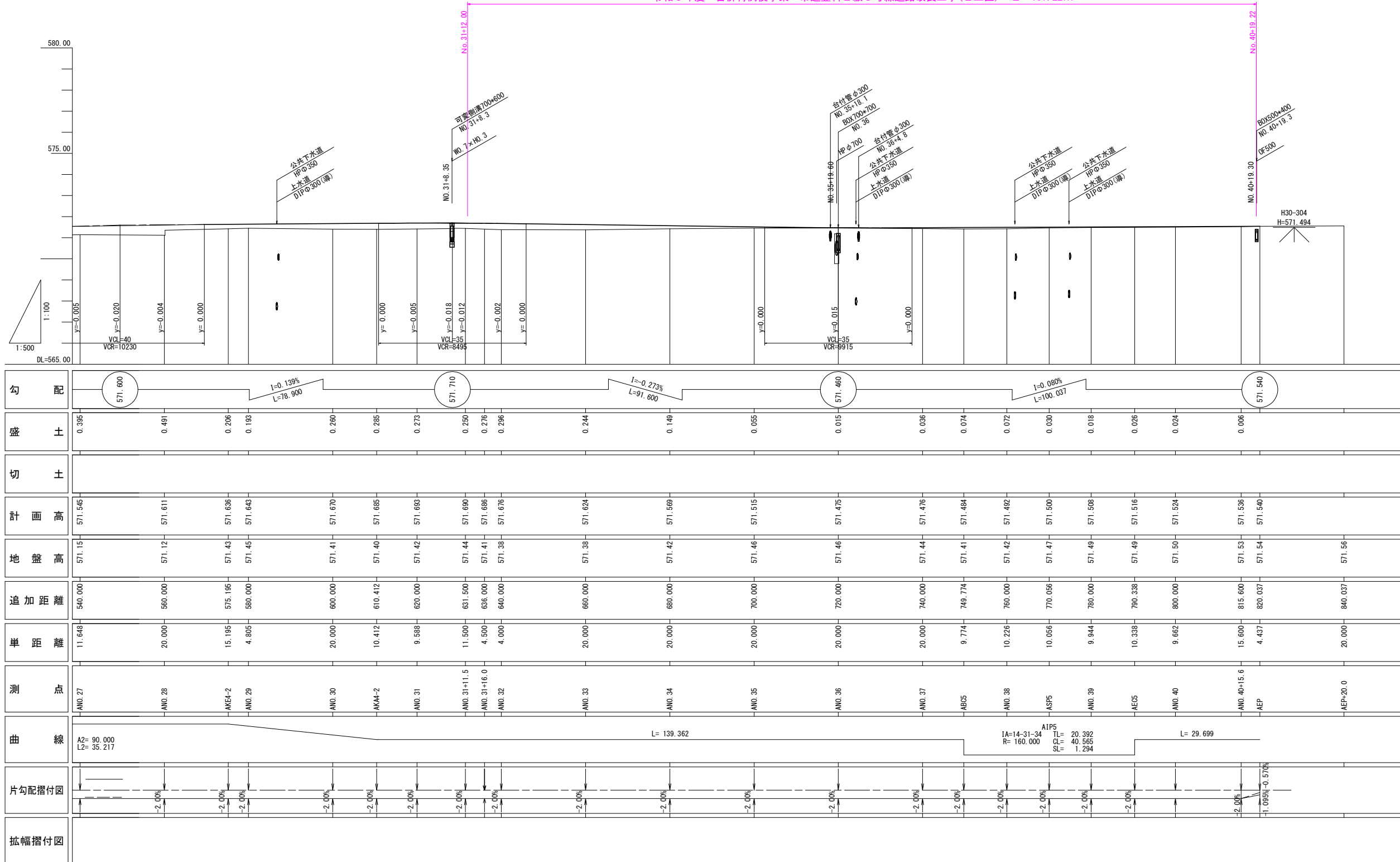
(市道豊科2級3号線)



実施図			
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)			
番号	1 / 14	平面図	縮尺 図示
安曇野市 豊科高家			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

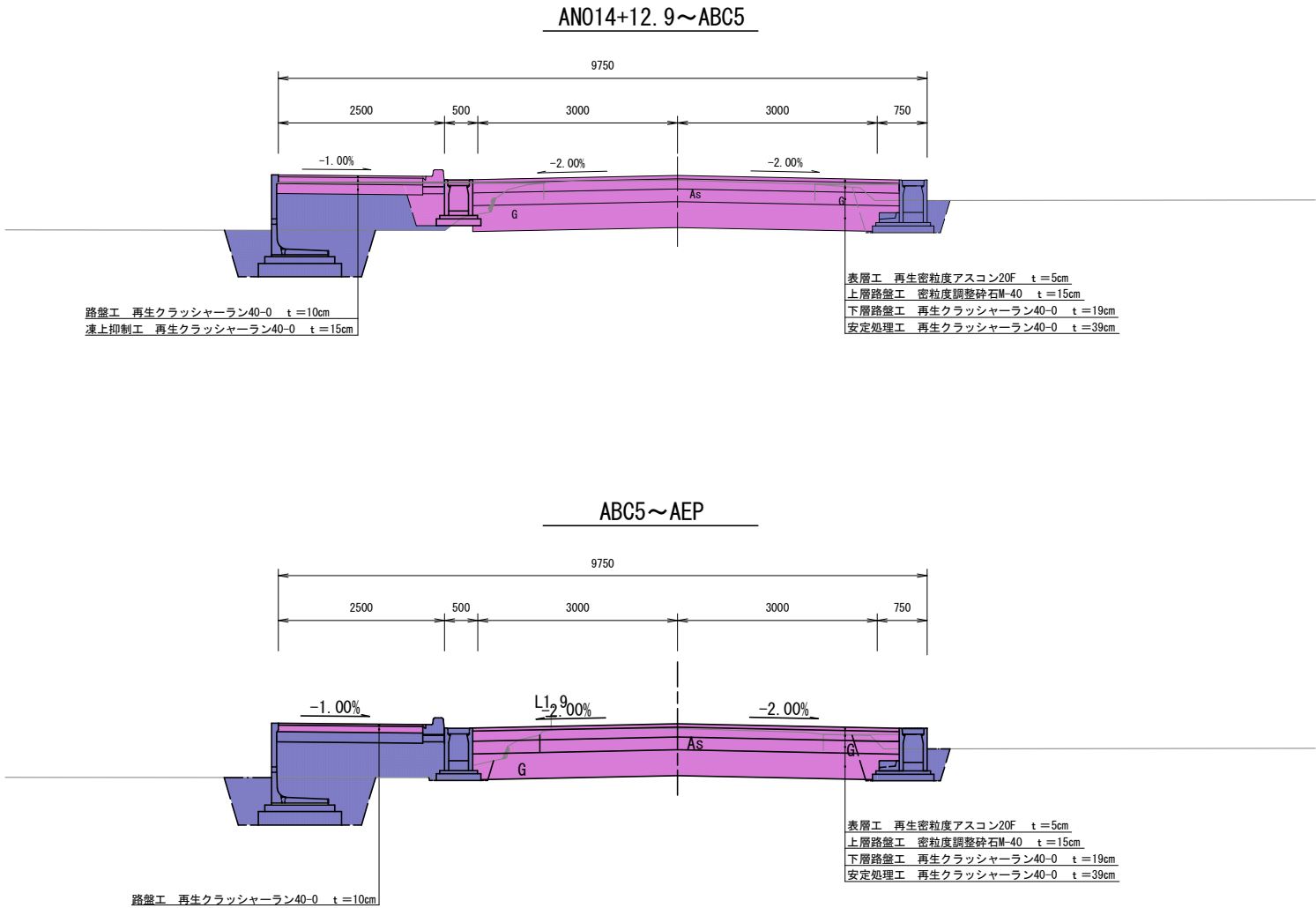
縦断図 縮尺 H=1/500 V=1/100 (A1)
縮尺 H=1/1000 V=1/200 (A3)

(市道豊科2級3号線)



実施図			
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)			
番 号	2 / 14	縦 断 図	縮 尺 図 示
<div style="text-align: center;"> <p>安曇野市 豊科高家</p> </div>			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

標準横断図 S=1 : 50



設 計 諸 元 表						
構 造 規 格	3 種 3 級			交 通 量	現況 2,600 台/24h	
巾 員 構 成	(歩) 2.50+0.50+3.00+3.00+0.75 (歩) 9.75m	(歩) 3.50+0.50+3.00+3.00+0.50+3.50 =14.00m			計画 2,000 台/24h	
設 計 速 度	40 km/h			工 種	道路改良(交差点)	
最 小 半 径	60 m				現 況	縦断勾配 0.15%~2.43%
勾 配	縦断0.05~4.88% 横断2.00%			巾 員 4.5~7.5m		
地 質	上層 砂質礫 下層 シルト混砂礫			路 面 As舗装		
舗装厚決定根拠 (平成19年算出)						
凍結深 気象データ(穂高) 標高540m 凍結指数138℃・日 凍結期間82日(2007~2017) 標高補正 現場576m 凍結指数=138+0.5*82*(576-540)/100=152.8℃・日 これよりC≒4.0 以上よりZ=C√F=4.0×√152.8=49.4cm 設計凍結=49.4×0.7=34.6≒35cm 表層・基層厚 計画交通量(1日1方向当りの大型交通量) 40≦T<100の場合の基層+表層の最小厚 5cm 日本道路協会「舗装設計便覧」(H18.2)P75~P81						
(1) 舗装計画交通量	100台以上250台未満/24h			(2) 信頼性 90%		(3) 設計期間 10年
(3) 各地点のCBR値	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	C-6
	2.2	1.3	13.5	42.6	1.0	0.5
(5) 設計CBR値	3 (路床を設計CBR3に改良)[C-3, C-4棄却]			(6) 凍結深 35cm		
(7) 疲労破壊輪数	30,000 回/10年			(8) 舗装の必要等価値換算厚 15cm		
(9) 舗装厚						
設計CBR値より	TA=15cm			等値換算係数		TA'
表層工	再生密粒度Asコン20F t= 5cm			1.00		5.0
上層路盤工	粒調整砕石M40 t=15cm			0.35		5.25
下層路盤工	再生クラッシャーラン40-0 t=19cm			0.25		4.75
合計	t=39cm					15.0
路床改良	安定処理工法(修正CBR20以上) t=39cm					

実施図

令和5年度 合併特例債事業
市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)

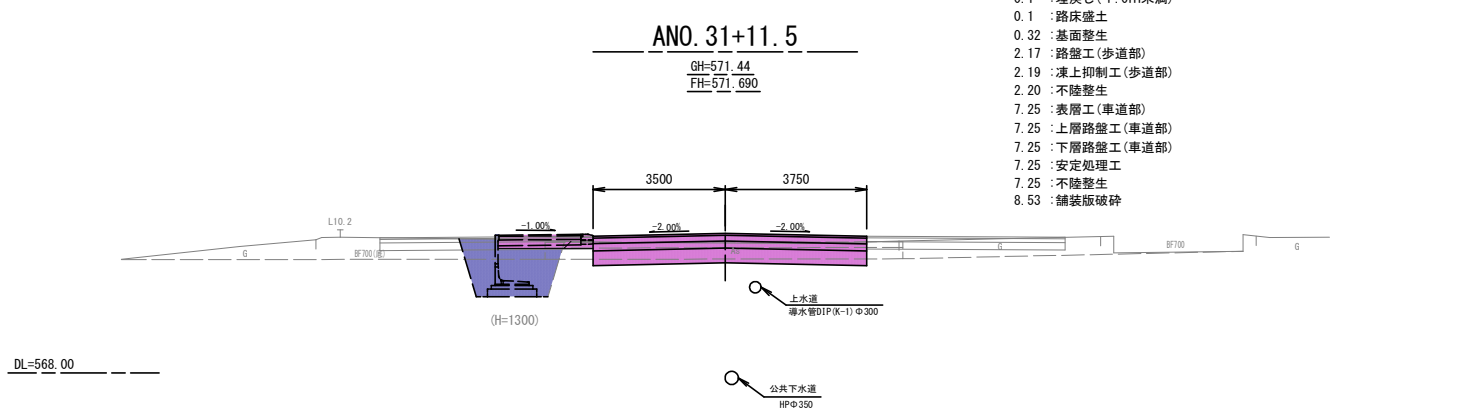
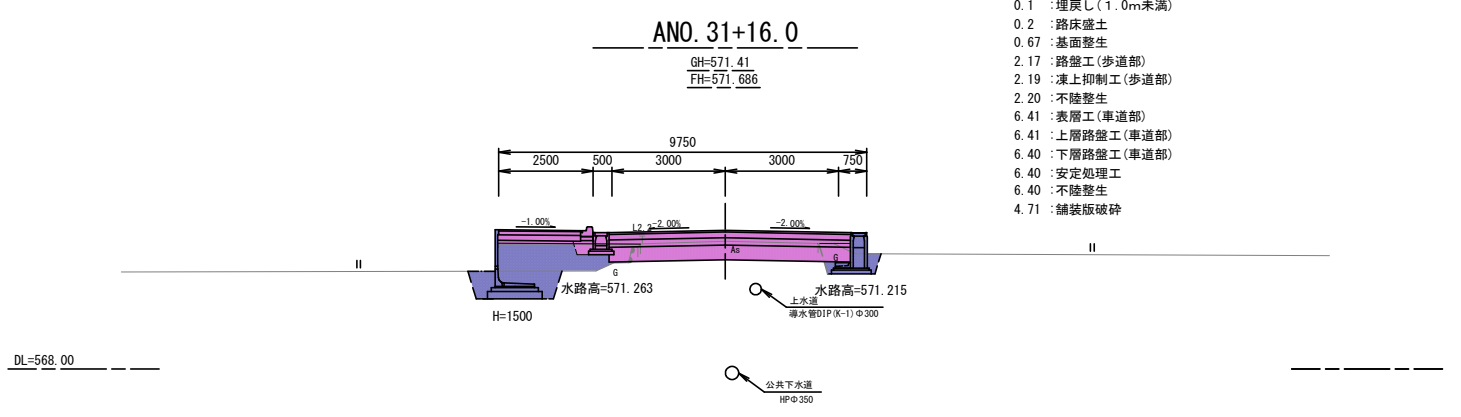
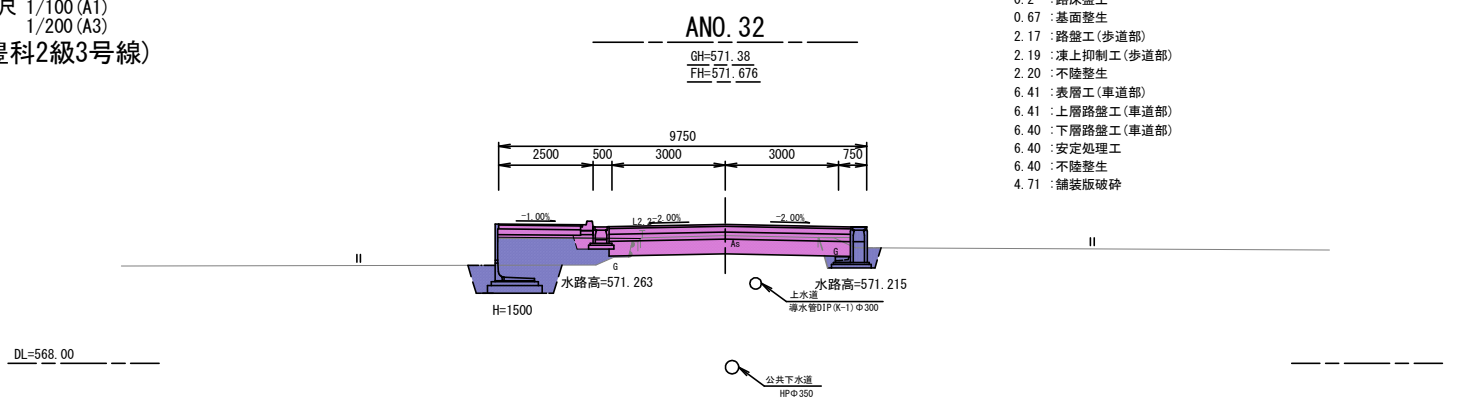
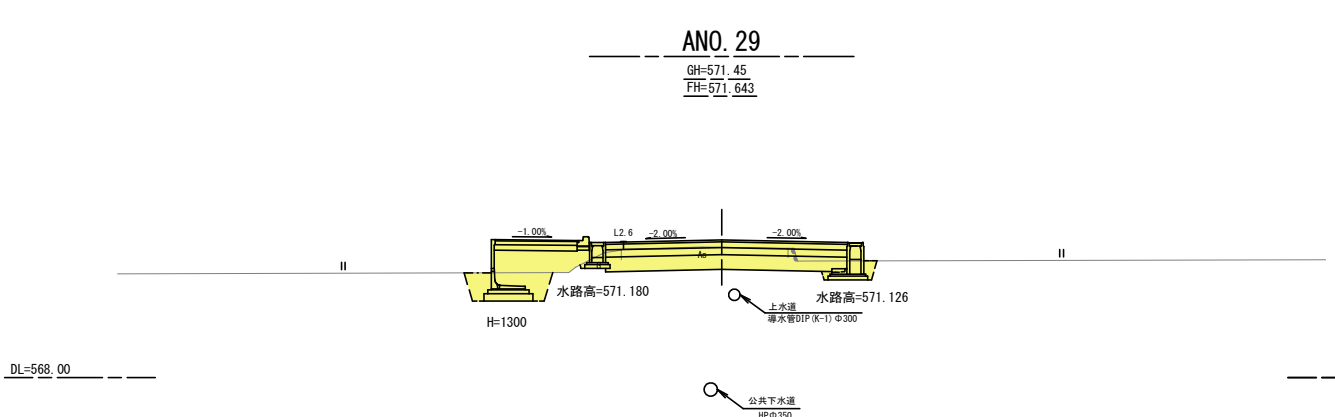
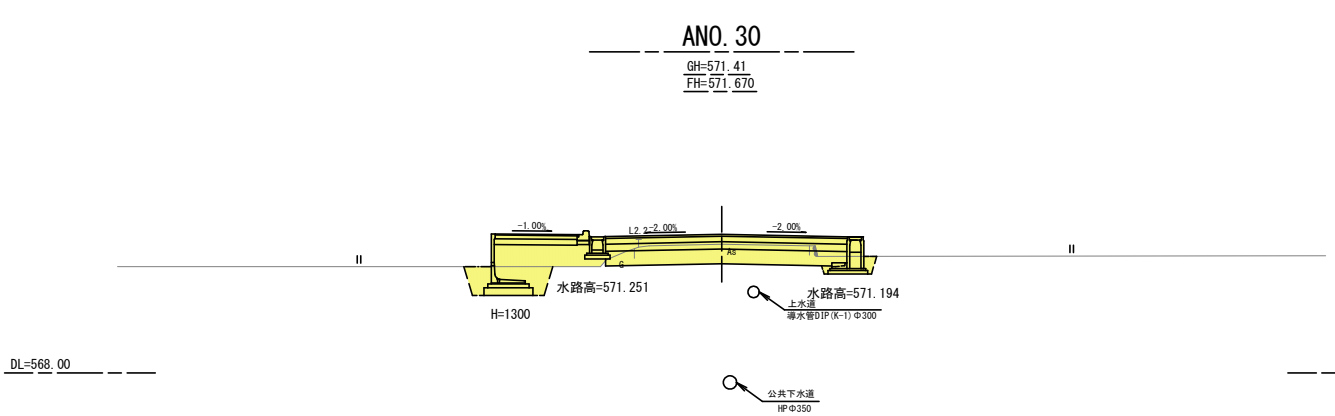
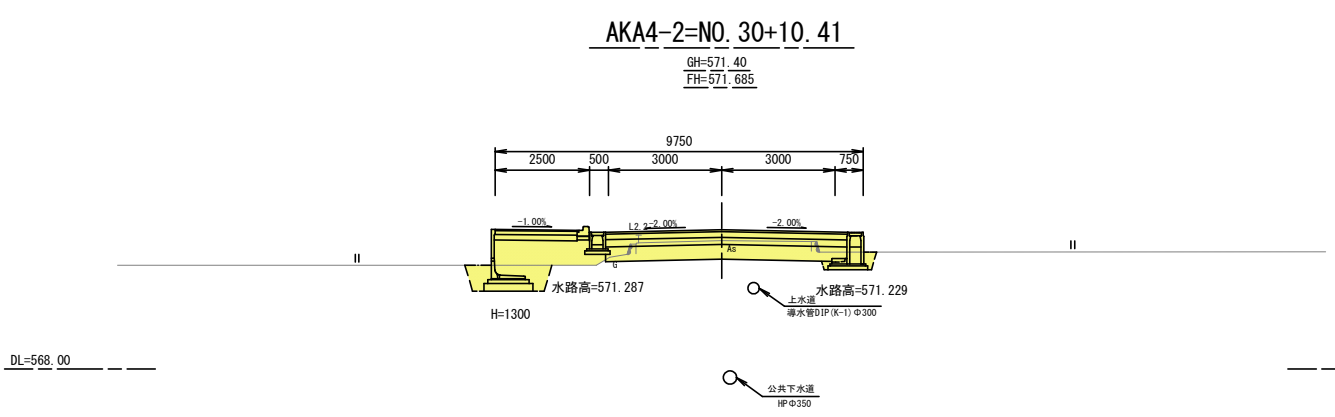
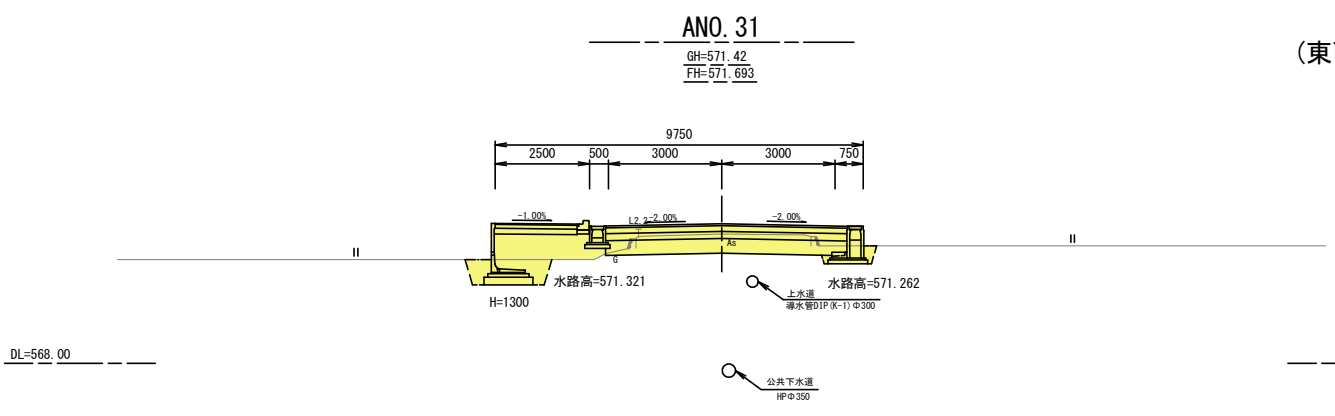
番号	3 / 14	標準断面図	縮尺	図示
----	--------	-------	----	----

安曇野市 豊科高家

設計会社	
測量会社	
調査会社	

安曇野市役所

横断図 1
縮尺 1/100 (A1)
1/200 (A3)
(東西路線 市道豊科2級3号線)



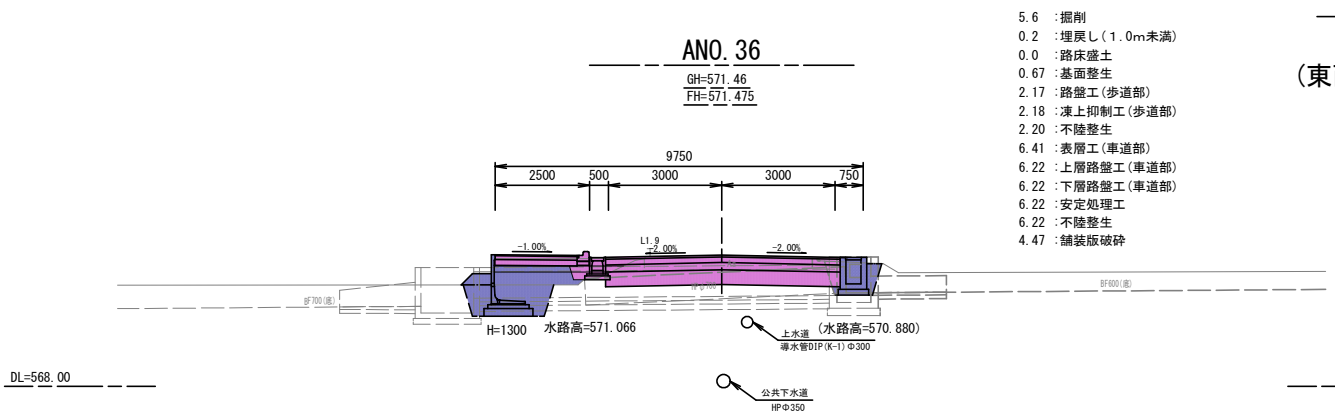
- 3.3 : 掘削
- 0.1 : 埋戻し(1.0m未満)
- 0.2 : 路床盛土
- 0.67 : 基面整生
- 2.17 : 路盤工(歩道部)
- 2.19 : 凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 : 不陸整生
- 6.41 : 表層工(車道部)
- 6.41 : 上層路盤工(車道部)
- 6.40 : 下層路盤工(車道部)
- 6.40 : 安定処理工
- 6.40 : 不陸整生
- 4.71 : 舗装版破砕

- 3.3 : 掘削
- 0.1 : 埋戻し(1.0m未満)
- 0.2 : 路床盛土
- 0.67 : 基面整生
- 2.17 : 路盤工(歩道部)
- 2.19 : 凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 : 不陸整生
- 6.41 : 表層工(車道部)
- 6.41 : 上層路盤工(車道部)
- 6.40 : 下層路盤工(車道部)
- 6.40 : 安定処理工
- 6.40 : 不陸整生
- 4.71 : 舗装版破砕

- 4.4 : 掘削
- 0.1 : 埋戻し(1.0m未満)
- 0.1 : 路床盛土
- 0.32 : 基面整生
- 2.17 : 路盤工(歩道部)
- 2.19 : 凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 : 不陸整生
- 7.25 : 表層工(車道部)
- 7.25 : 上層路盤工(車道部)
- 7.25 : 下層路盤工(車道部)
- 7.25 : 安定処理工
- 7.25 : 不陸整生
- 8.53 : 舗装版破砕

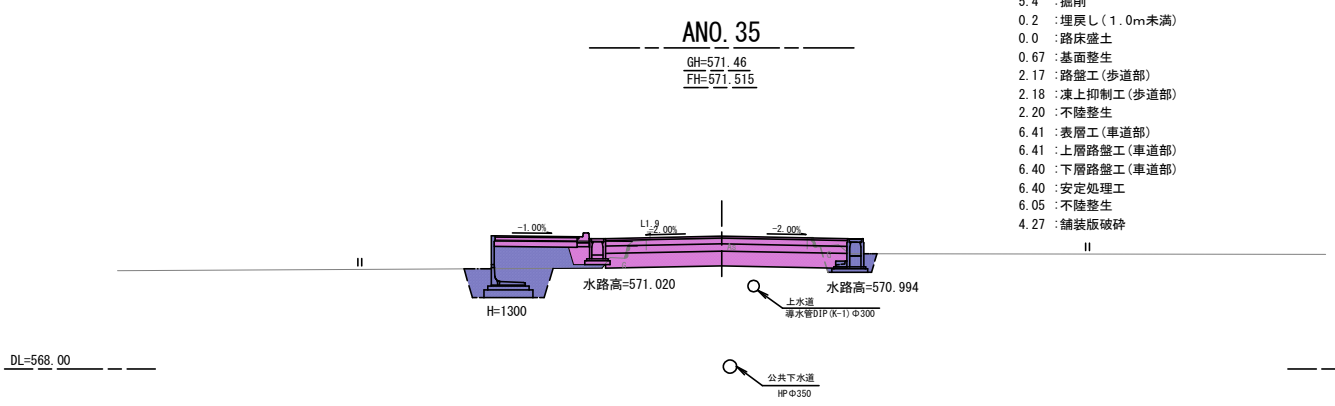
実施図				
令和5年度 合併特別債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)				
番号	4 / 14	横断図 1	縮尺	図示
安曇野市 豊科高家				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

横断図 2
縮尺 1/100 (A1)
1/200 (A3)
(東西路線 市道豊科2級3号線)



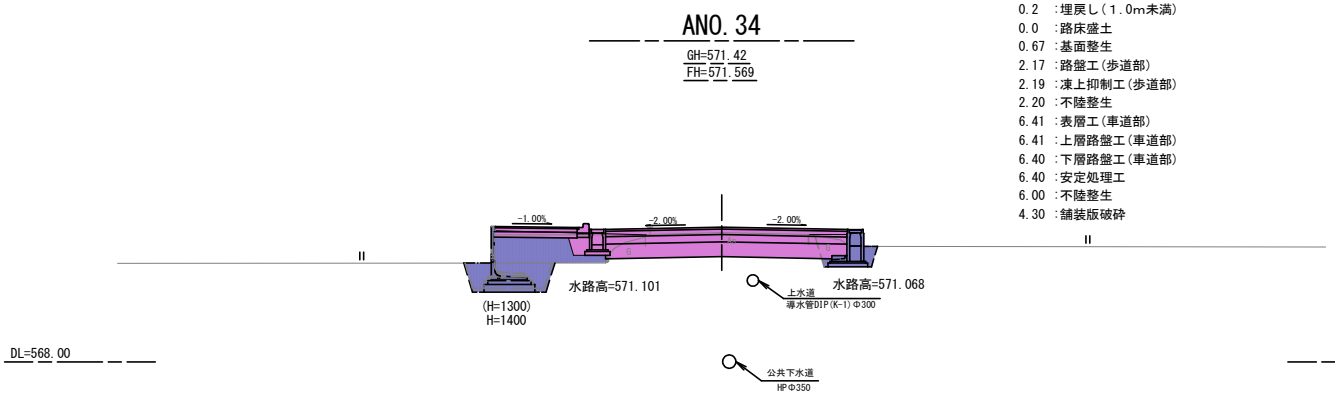
- 5.6 :掘削
- 0.2 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.67 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 2.18 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.22 :上層路盤工(車道部)
- 6.22 :下層路盤工(車道部)
- 6.22 :安定処理工
- 6.22 :不陸整生
- 4.47 :舗装版破碎

DL=568.00



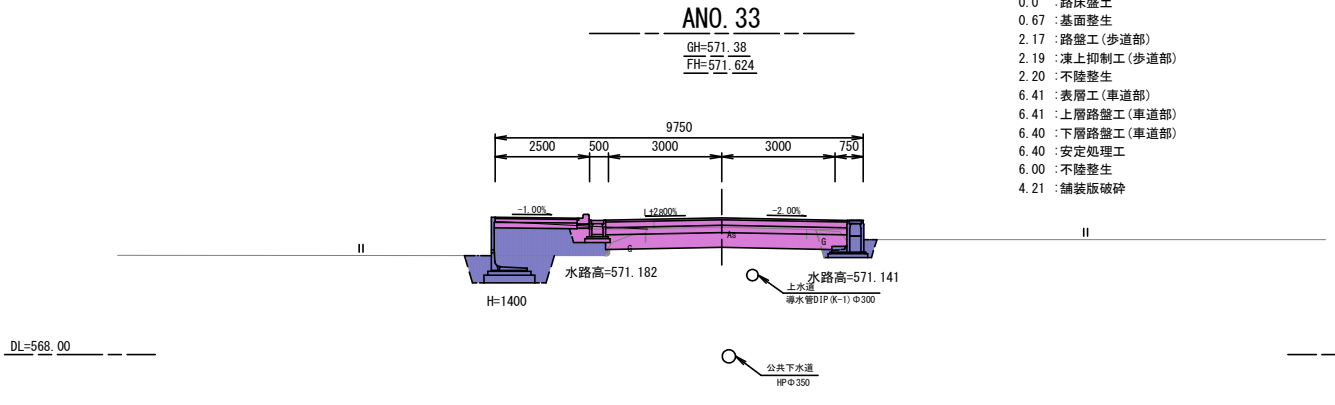
- 5.4 :掘削
- 0.2 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.67 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 2.18 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.40 :下層路盤工(車道部)
- 6.40 :安定処理工
- 6.05 :不陸整生
- 4.27 :舗装版破碎

DL=568.00

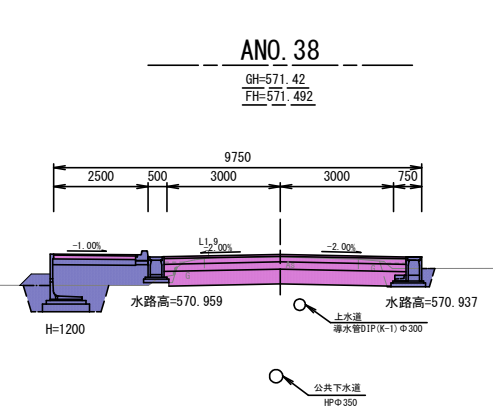


- 4.8 :掘削
- 0.2 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.67 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 2.19 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.40 :下層路盤工(車道部)
- 6.40 :安定処理工
- 6.00 :不陸整生
- 4.30 :舗装版破碎

DL=568.00

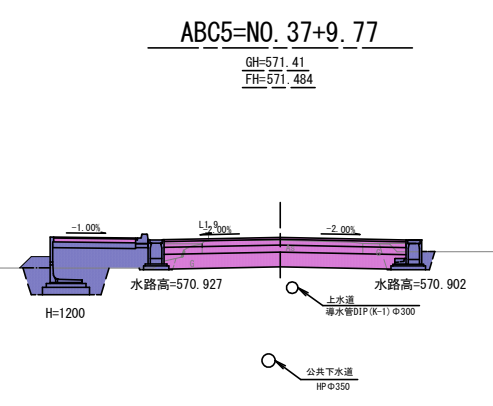


- 4.0 :掘削
- 0.2 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.67 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 2.19 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.40 :下層路盤工(車道部)
- 6.40 :安定処理工
- 6.00 :不陸整生
- 4.21 :舗装版破碎



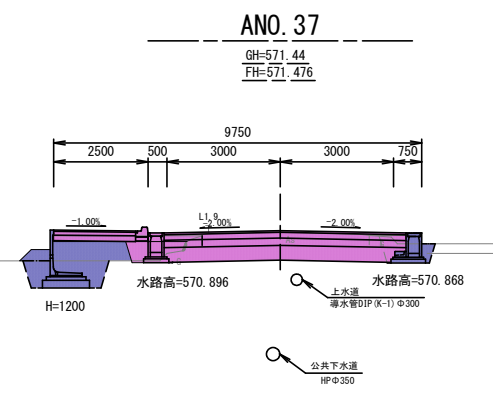
- 4.4 :掘削
- 0.0 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.00 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 0.00 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.19 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.41 :下層路盤工(車道部)
- 6.41 :安定処理工
- 5.89 :不陸整生
- 4.09 :舗装版破碎

DL=568.00



- 4.4 :掘削
- 0.0 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.00 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 0.00 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.19 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.41 :下層路盤工(車道部)
- 6.41 :安定処理工
- 5.89 :不陸整生
- 4.24 :舗装版破碎

DL=568.00

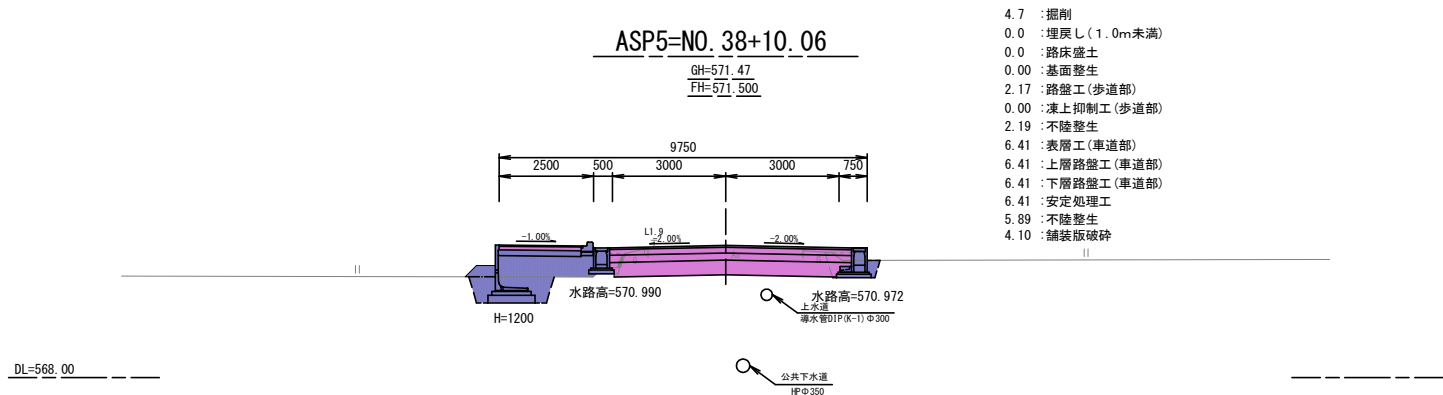
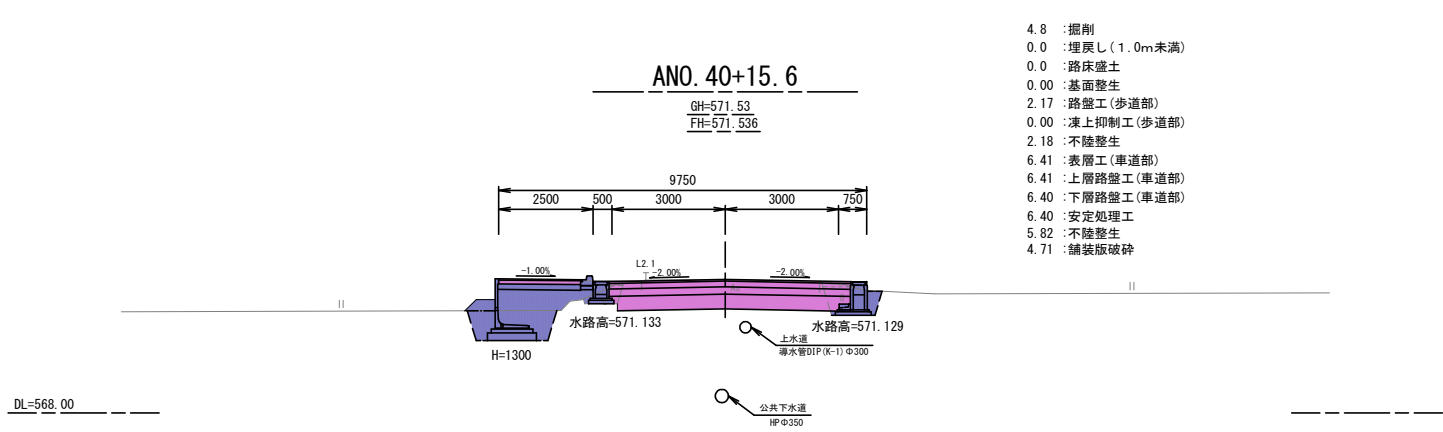
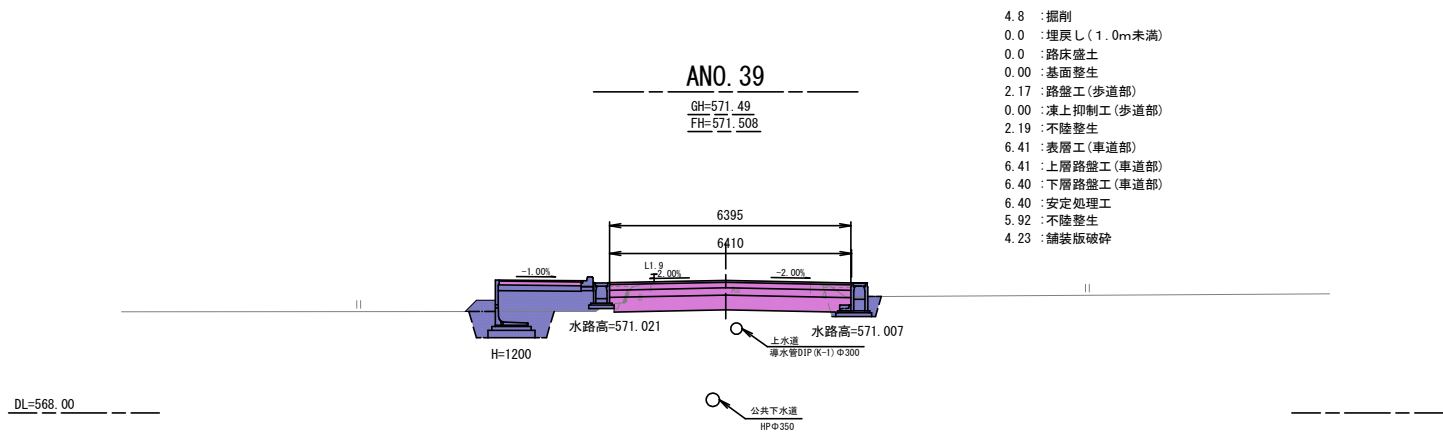
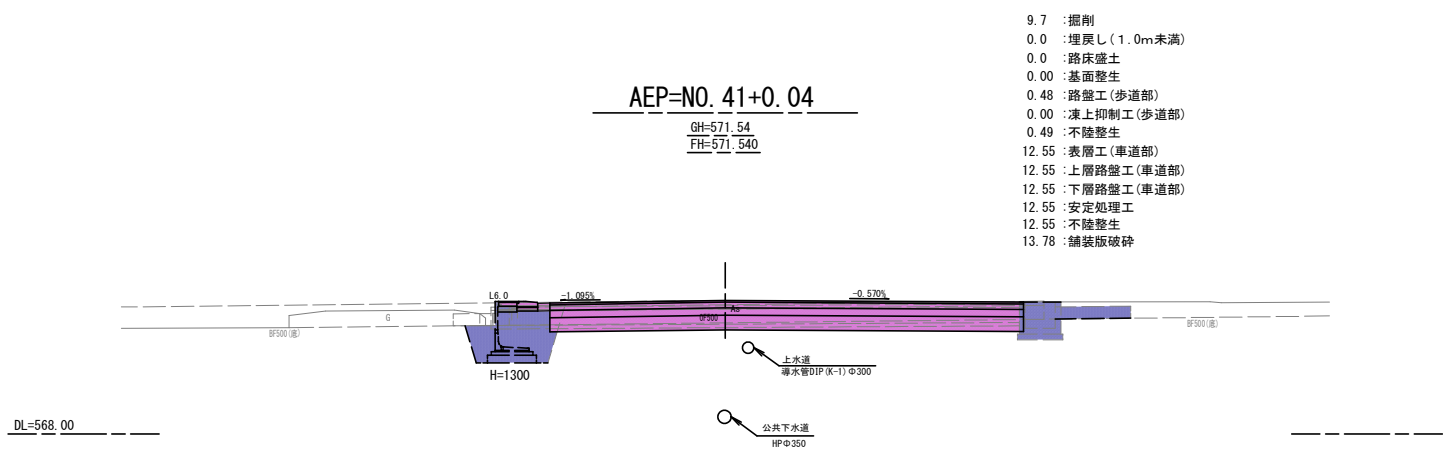
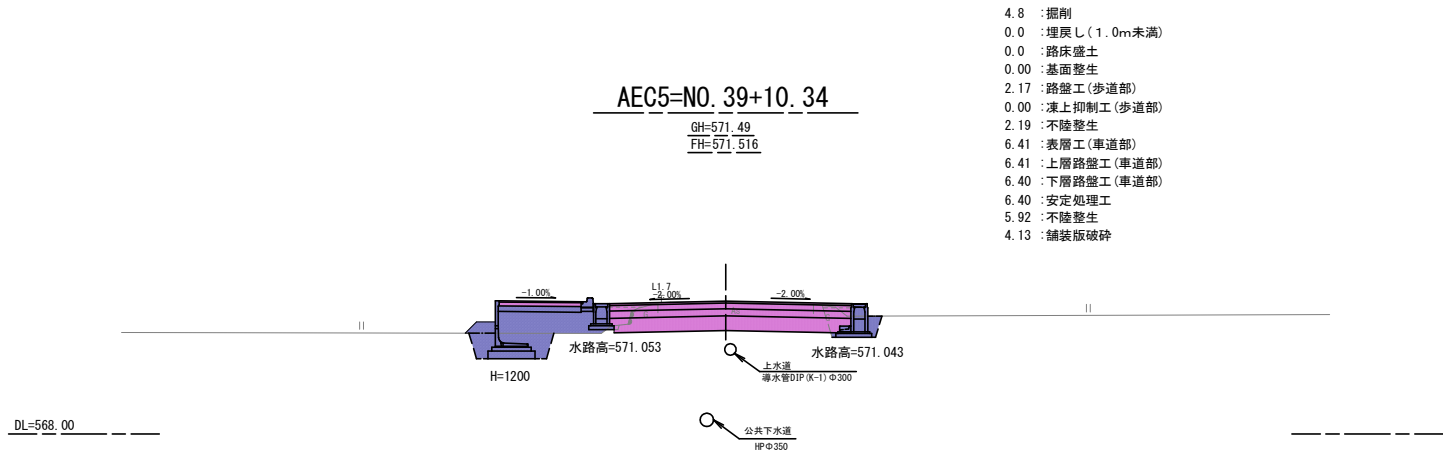
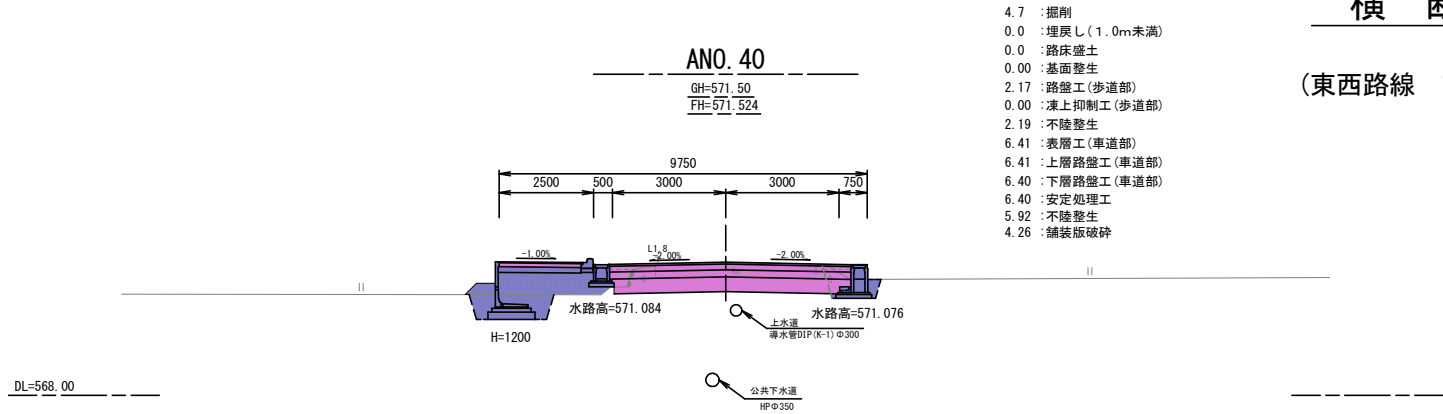


- 5.5 :掘削
- 0.3 :埋戻し(1.0m未満)
- 0.0 :路床盛土
- 0.67 :基面整生
- 2.17 :路盤工(歩道部)
- 2.19 :凍上抑制工(歩道部)
- 2.20 :不陸整生
- 6.41 :表層工(車道部)
- 6.41 :上層路盤工(車道部)
- 6.41 :下層路盤工(車道部)
- 6.41 :安定処理工
- 5.89 :不陸整生
- 4.43 :舗装版破碎

DL=568.00

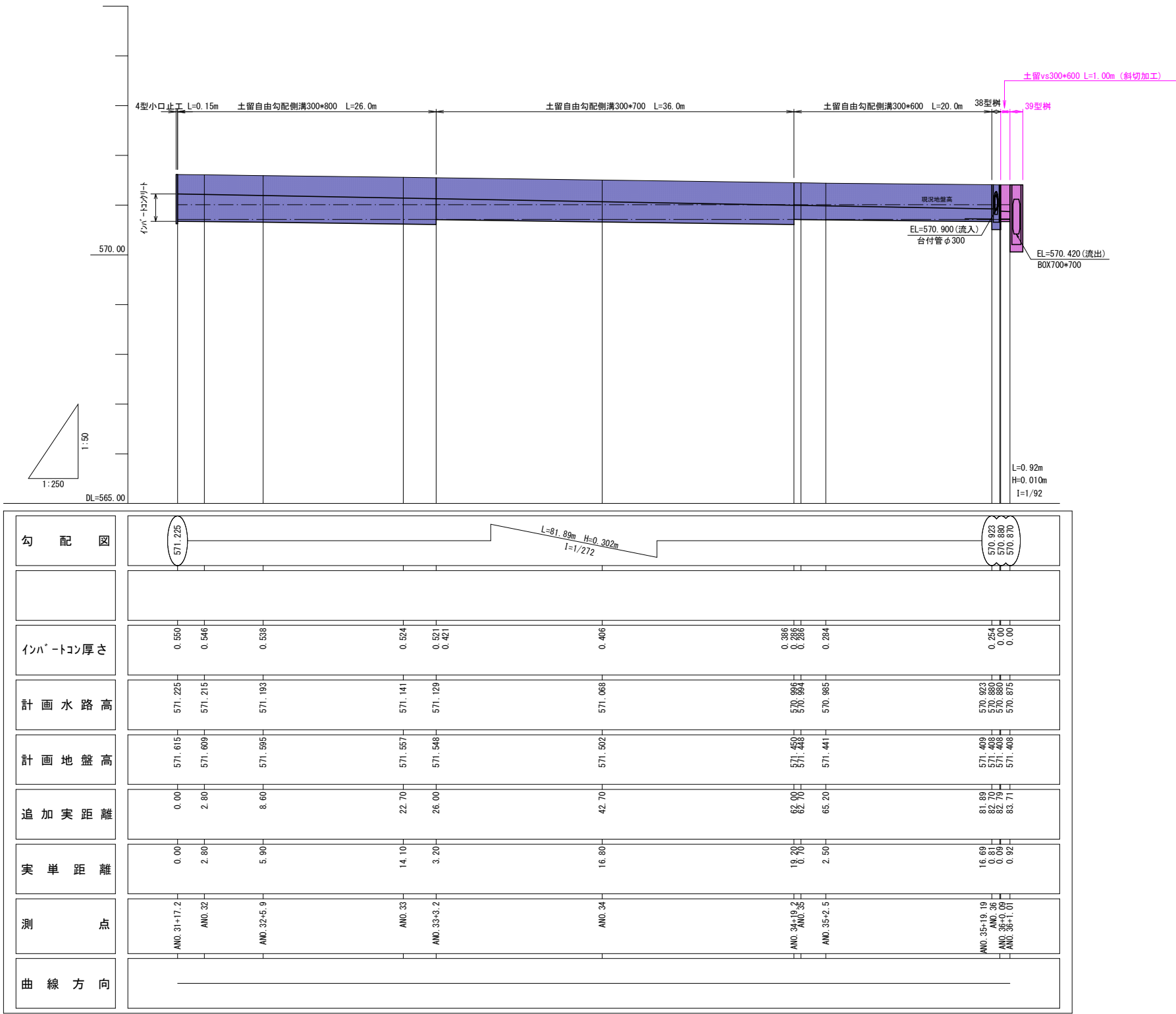
実施図			
令和5年度 合併特別債事業			
市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)			
番号	5 / 14	横断図 2	縮尺 図示
安曇野市 豊科高家			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

横断図 3
縮尺 1/100 (A1)
1/200 (A3)
(東西路線 市道豊科2級3号線)



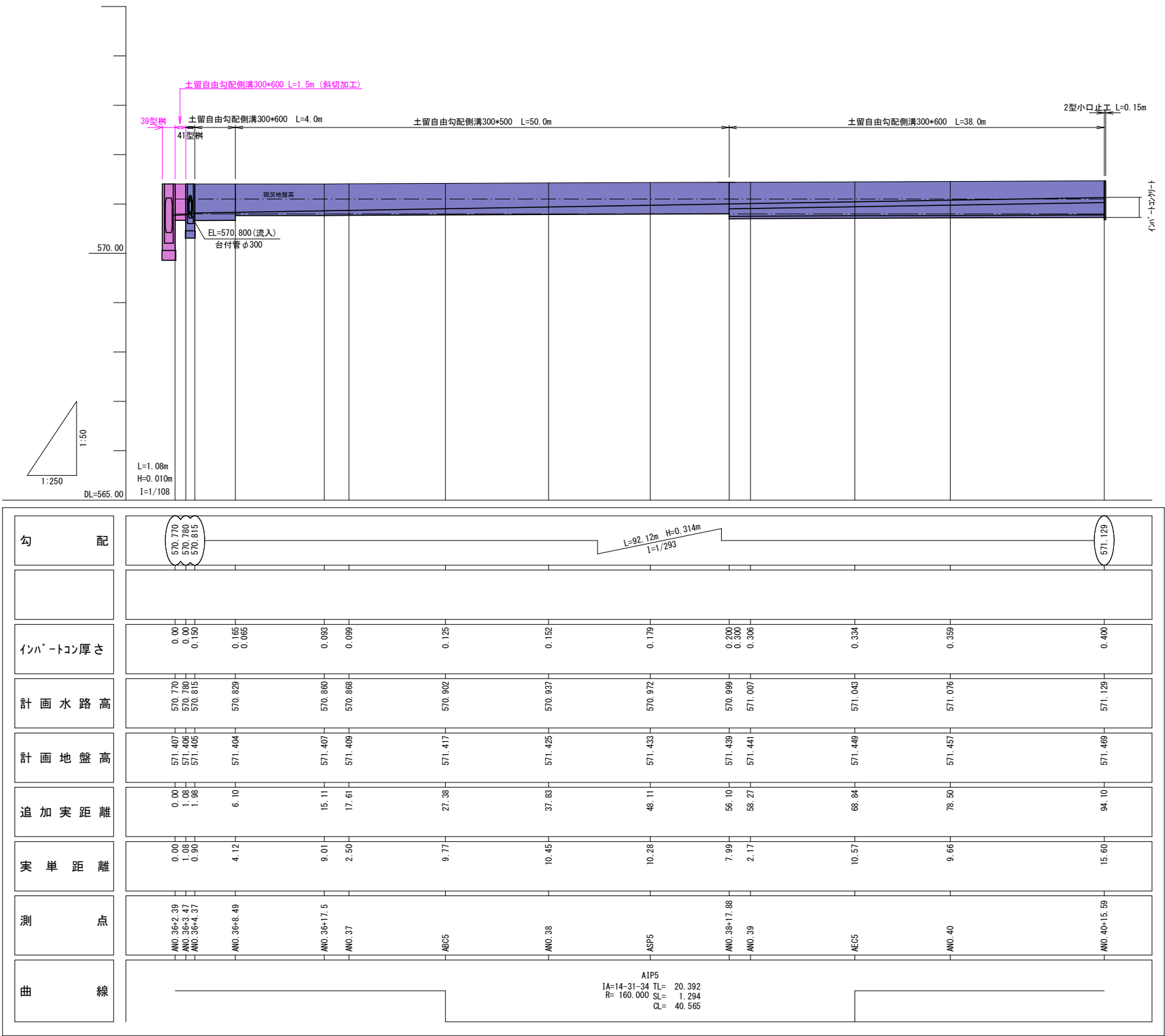
実施図					
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事（2工区）					
番号	6 / 14	横断図	3	縮尺	図示
安曇野市 豊科高家					
設計会社					
測量会社					
調査会社					
安曇野市役所					

右側水路展開図-1 s : V=1 : 50
H=1 : 250



右側水路展開図- 2

S: V=1 : 50
H=1 : 250



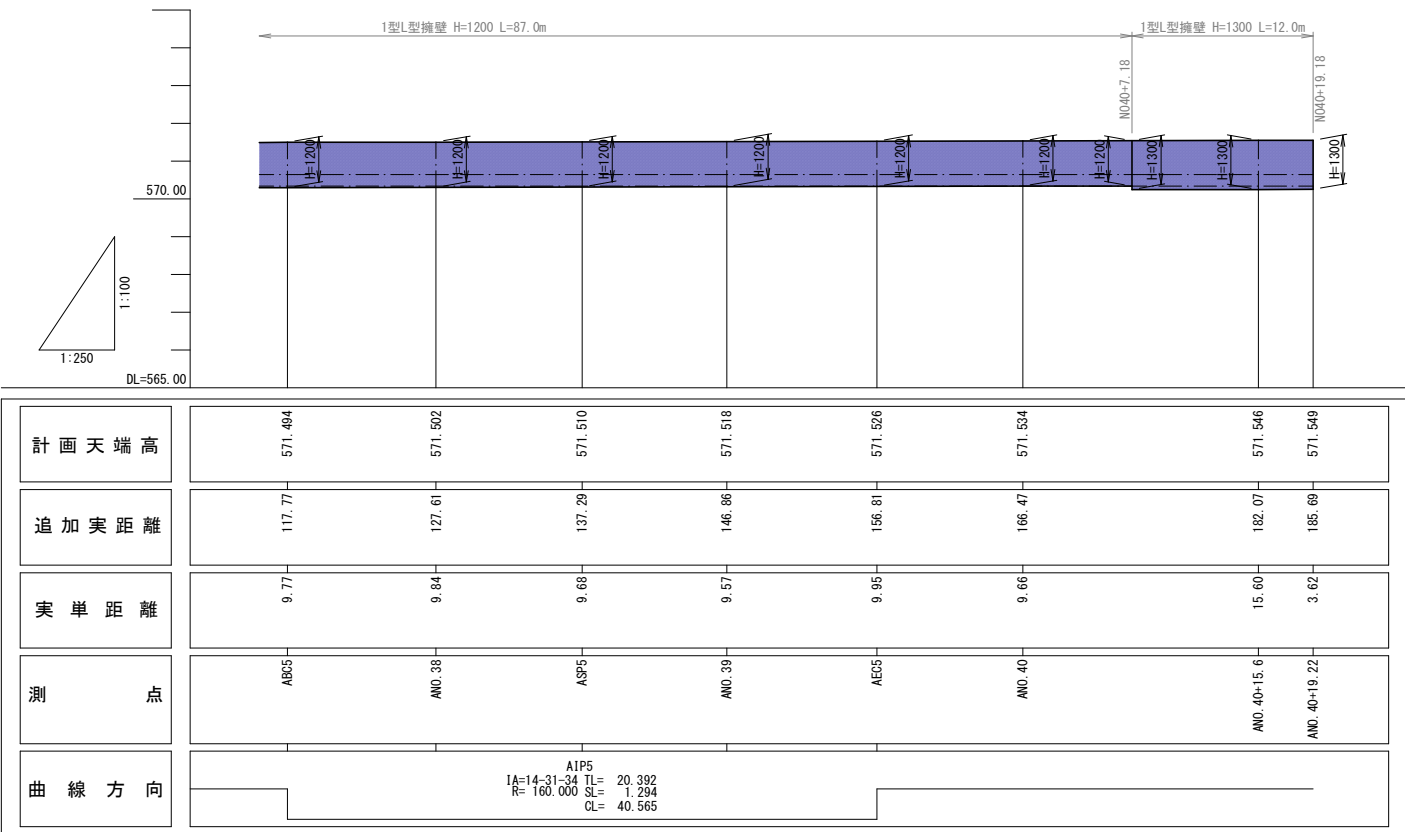
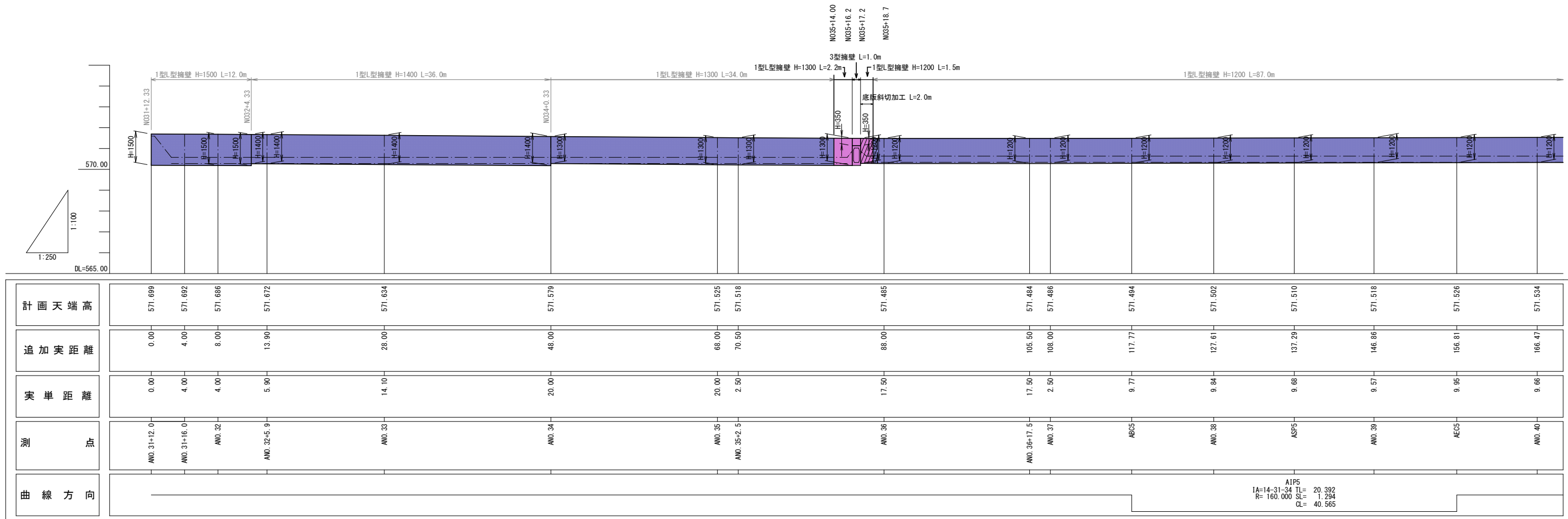
実施図				
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)				
番号	8 / 14	右側水路展開図2	縮尺	図 示
安曇野市 豊科高家				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安 曇 野 市 役 所				

左側擁壁展開図

S :

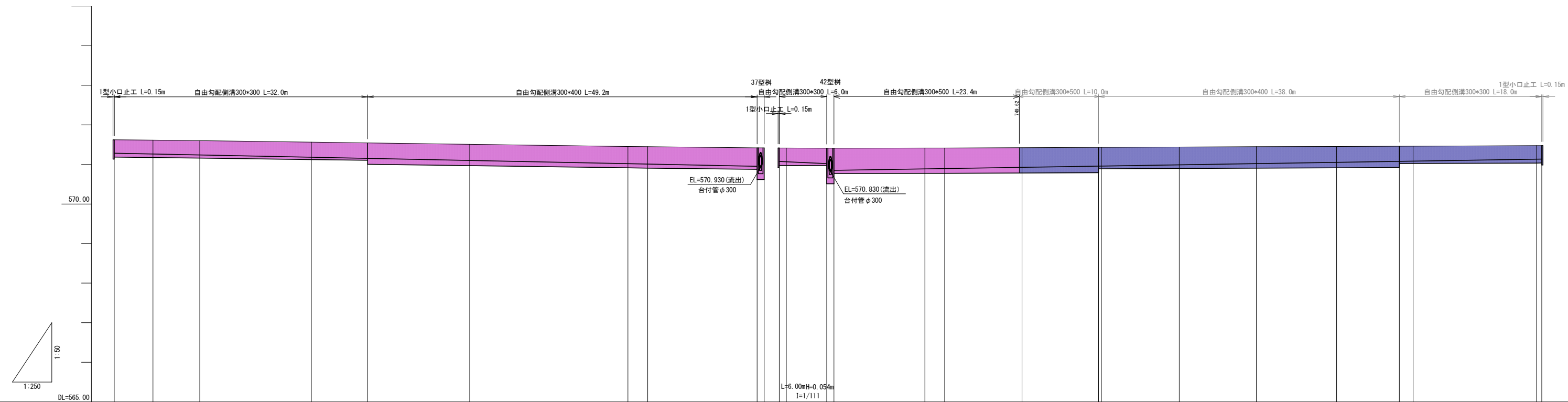
V=1 : 100

H=1 : 250



道路左側水路展開図

S: V=1 : 50
H=1 : 250



勾 配 図																				
砕 石 厚																				
バ ー トン厚さ	0.100	0.089	0.079		0.080	0.051 0.151		0.134			0.107	0.104		0.080	0.100 0.083		0.116	0.122		0.145
計 画 水 路 高	571.283	571.283	571.239		571.182	571.153		571.101			571.020	571.010		570.954	571.074 571.066		570.988	570.896		570.927
計 画 地 盤 高	571.623	571.614	571.600		571.562	571.542		571.507			571.453	571.446		571.420 571.418	571.414 571.413		571.412	571.414		571.422
追 加 実 距 離	0.00	4.90	10.80		24.90	32.00		44.90			64.90	67.40		81.20 82.10	84.01 84.90		102.40	104.90		114.67
実 単 距 離	0.00	4.90	5.90		14.10	7.10		12.90			20.00	2.50		13.80 0.90	1.91 0.88		11.48	2.50		9.77
測 点	NO. 31+15.1	ANO. 32	ANO. 32+5.9		ANO. 33	ANO. 33+7.1		ANO. 34			ANO. 35	ANO. 35+2.5		ANO. 35+16.30 ANO. 35+17.20	ANO. 35+19.11 ANO. 36		ANO. 36+17.5	ANO. 37		AB05
曲 線 方 向	AIP5 1A=14-31-34 TL= 20.392 R= 160.000 SL= 1.294 CL= 40.565																			

実施図

令和5年度 合併特別債事業
市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)

番 号10 / 14左側水路展開図縮 尺 図 示

安曇野市 豊科高家

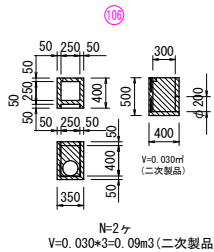
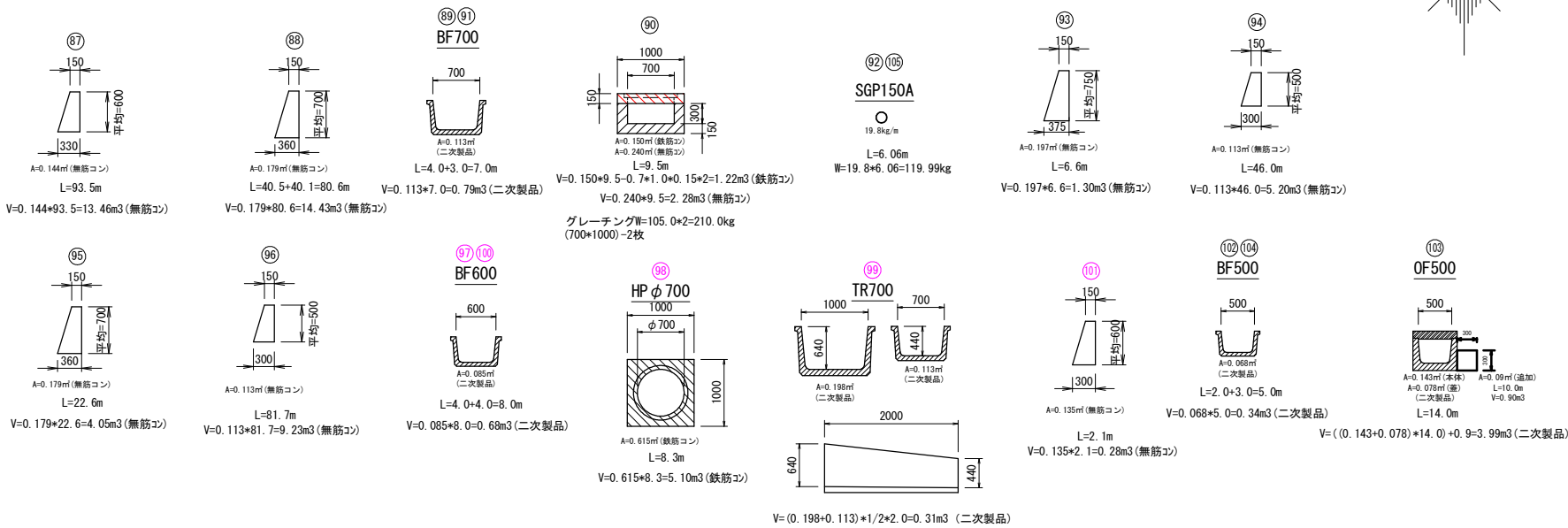
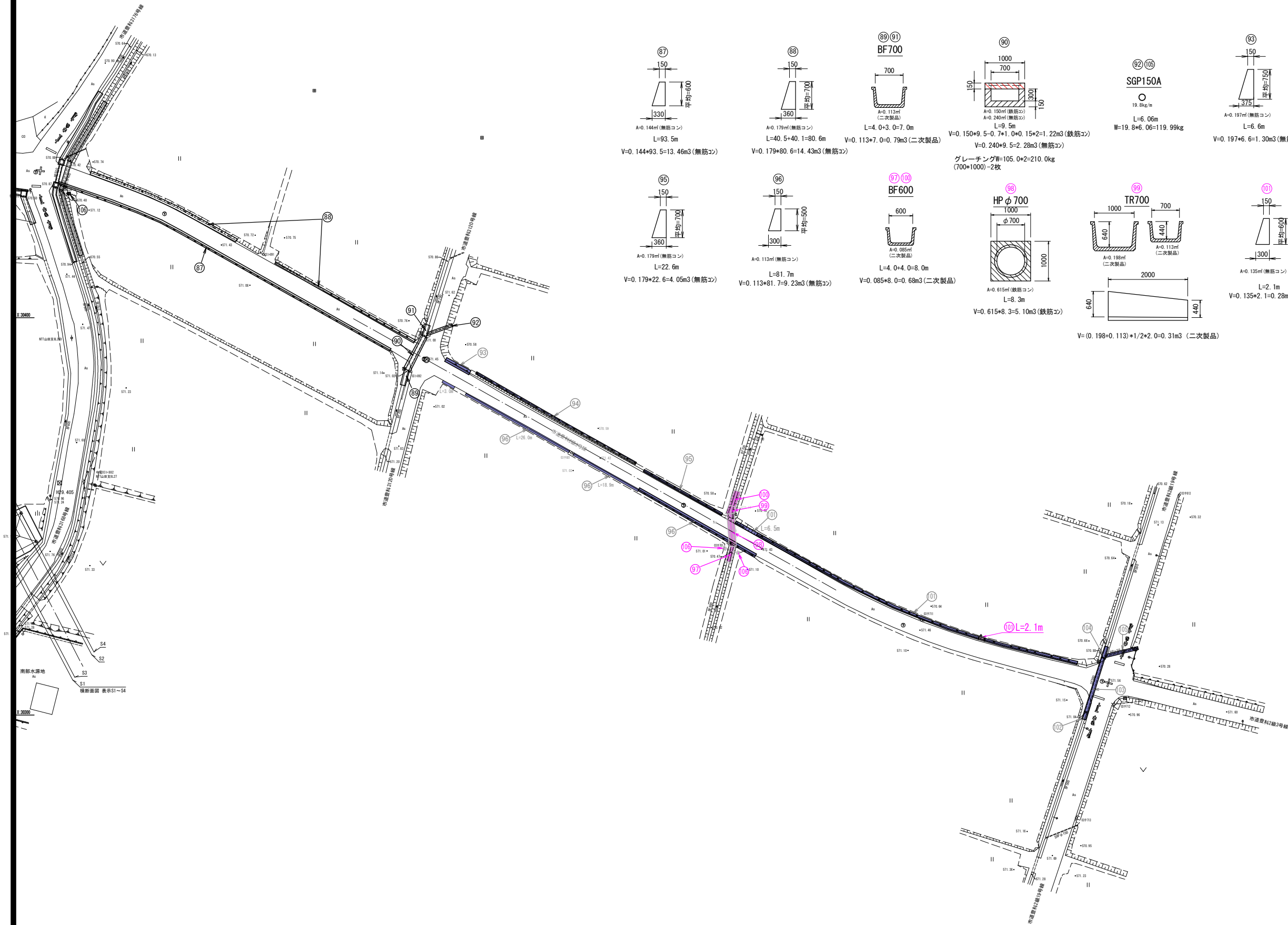
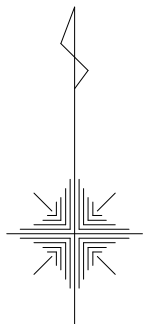
設計会社

測量会社

調査会社

安 曇 野 市 役 所

取壊し平面図 縮尺1/500

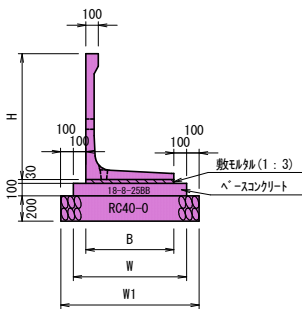


実施図			
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)			
番号	11 / 14	取壊し平面図	縮尺 図 示
安曇野市 豊科高家			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

構造図

1 型擁壁工 S=1:30

(7°レキストL型擁壁)

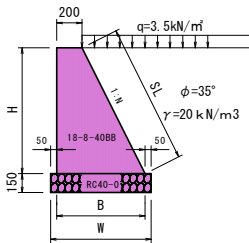


寸法・材料表(参考値)

(10m当り)

H(m)	B(m)	W(m)	W1(m)	製品 (枚)	敷きモルタル (m3)	ベ-スコンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	基 礎 (m2)
0.60	0.45	0.65	0.85	5	0.135	0.65	2.0	8.5
0.70	0.50	0.70	0.90	5	0.150	0.70	2.0	9.0
0.80	0.60	0.80	1.00	5	0.180	0.80	2.0	10.0
0.90	0.65	0.85	1.05	5	0.195	0.85	2.0	10.5
1.00	0.70	0.90	1.10	5	0.210	0.90	2.0	11.0
1.10	0.80	1.00	1.20	5	0.240	1.00	2.0	12.0
1.20	0.85	1.05	1.25	5	0.255	1.05	2.0	12.5
1.30	0.90	1.10	1.30	5	0.270	1.10	2.0	13.0
1.40	0.95	1.15	1.35	5	0.285	1.15	2.0	13.5
1.50	1.05	1.25	1.45	5	0.315	1.25	2.0	14.5

3 型擁壁工 S=1:30

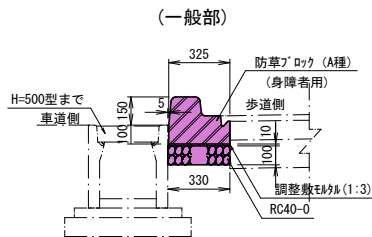


*10.0m毎に伸縮目地設置を標準とする。

材 料 表 (m当り)

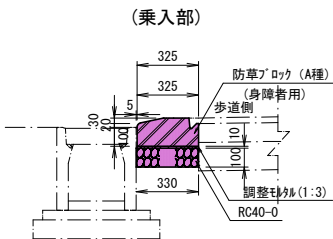
H(m)	N	B(m)	W(m)	SL(m)	コンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	枠 基 (m2)	礎
0.30	0.30	0.290	0.390	0.313	0.074	0.61	0.39	
0.35	0.30	0.305	0.405	0.365	0.088	0.72	0.41	
0.40	0.30	0.320	0.420	0.418	0.104	0.82	0.42	
0.45	0.30	0.335	0.435	0.470	0.120	0.92	0.44	
0.50	0.30	0.350	0.450	0.522	0.138	1.02	0.45	
0.55	0.30	0.365	0.465	0.574	0.155	1.12	0.47	
0.60	0.30	0.380	0.480	0.626	0.174	1.23	0.48	

1型歩車道境界ブロック工 S=1:20

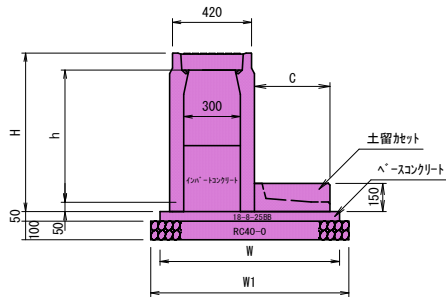


材 料 表 (10.0m当り)

基 礎A= 0.330*10.0=3.3m2
調整モルタルV= 0.325*0.01*10.0=0.03m3
防草ブロックA種=16.5個



土留用自由勾配側溝300型 S=1:20



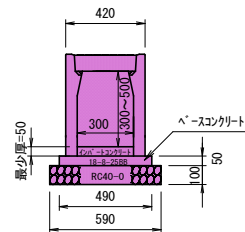
寸法・材料表

内幅 B (mm)	内高 h (mm)	基礎寸法 (mm)			材料表 (10m当り)					
		C	W	W1	ベ-ス コンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	基礎材 (m2)	可変側溝 (本)	土留シート (本)	
300	500	300	820	920	0.41	1.0	9.2	5	5	
	600	300	850	950	0.43	1.0	9.5	5	5	
	700	400	950	1050	0.48	1.0	10.5	5	5	
	800	400	950	1050	0.48	1.0	10.5	5	5	
	900	500	1050	1150	0.53	1.0	11.5	5	5	

自由勾配側溝300型 S=1:20

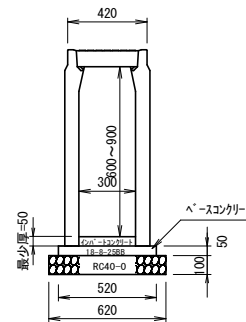
B300*H300~500

B300*H600~900



材料表 (縦断用)

材料表 (10m当り)				
ベ-ス コンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	コンクリ-ト (m3)	基礎材 (m2)	可変側溝 (本)
0.25	1.0	0.15	5.9	5



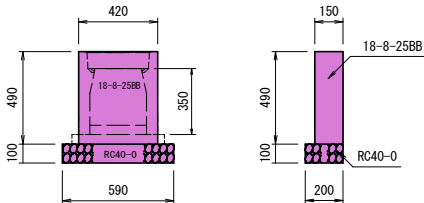
材料表 (縦断用)

材料表 (10m当り)				
ベ-ス コンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	コンクリ-ト (m3)	基礎材 (m2)	可変側溝 (本)
0.26	1.0	0.15	6.2	5

1型小口止工 S=1:20

正面図

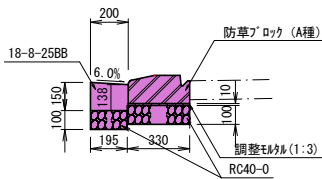
側面図



材 料 表 (1基当り)

コンクリ-ト= 0.42*0.49*0.15=0.03m3
型 枠= 0.49*0.42+0.30*0.35+0.15*0.49*2=0.5m2
基 礎= 0.59*0.20=0.1m2

1型組合せL型側溝(巻込部) S=1:20

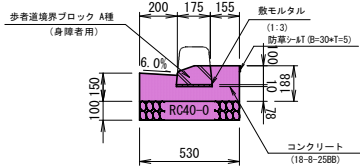


組合せL型側溝 数量表

(10m当り)

項 目	単 位	数 量	摘 要
コンクリ-ト	m3	0.29	18-8-25BB
型 枠	m2	1.5	
基礎碎石	m2	5.3	RC40-0
モルタル	m3	0.03	1:3
ブロック	個	16.5	A種 L=0.6m

2型組合せL型側溝(巻込部) S=1:20

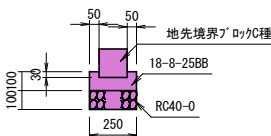


組合せL型側溝(巻込部) 数量表

(10m当り)

項 目	単 位	数 量	摘 要
コンクリ-ト	m3	0.71	18-8-25BB
型 枠	m2	3.4	
基礎碎石	m2	5.3	RC40-0
モルタル	m3	0.02	1:3
ブロック	個	16.5	A種 L=0.6m
防草シート	m	10.0	B=30*T=5

地先境界ブロック S=1:20



材料表

(10m当り)

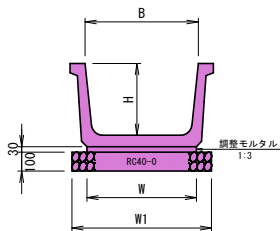
コンクリ-ト (m3)	型 枠 (m2)	基礎材 (m2)	ブロック(C種) (本)
0.22	2.0	2.5	16.5

実施図

令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)			
番 号	12/14	構 造 図 1	縮 尺 図 示
安曇野市 豊科高家			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

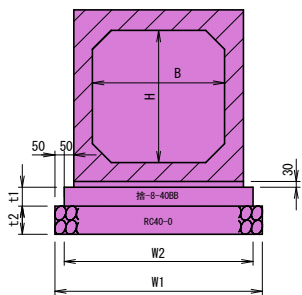
構 造 図 2

ベンチリ्यूム（ジョイント型）構造図 S=1:20



呼び寸法	寸法 (mm)				材料表 (10m当り)			参考重量 (kg/本)
	B	H	W	W1	砕石基礎 (m2)	敷モルタル (m3)	製品 (本)	
BF250	250	175	250	385	3.9	0.08	5	106
BF300	300	200	300	440	4.4	0.09	5	136
BF350	350	235	345	490	4.9	0.10	5	180
BF400	400	260	395	545	5.5	0.12	5	227
BF500	500	320	490	645	6.5	0.15	5	308
BF600	600	380	580	740	7.4	0.17	5	378
BF700	700	440	680	850	8.5	0.20	5	508
BF800	800	490	770	945	9.5	0.23	5	598
BF900	900	550	870	1055	10.6	0.26	5	758

ボックスカルバート S=1:20

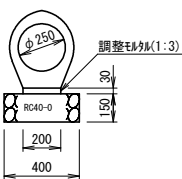


呼 び 寸 法	コンクリート (t1)	基礎砕石 (t2)
B300*H300~1000*1000	100	150
B1100*H100~2000*2000	150	200
B2200*H1800~3500*2500	200	250

呼び寸法	寸法 (mm)		基礎砕石幅 (W1)	捨コン幅 (W2)	材料表 (10m当り)					参考重量 (kg/本)
	幅 (B)	高さ (H)			砕石基礎 (m2)	型 枠 (m2)	コンクリート (m3)	敷モルタル (m3)	製品 (本)	
B400*H400	400	400	760	660	7.6	2.0	0.66	0.17	5	817
B500*H400	500	400	880	780	8.8	2.0	0.78	0.20	5	1053
B600*H500	600	500	1000	900	10.0	2.0	0.90	0.24	5	1400
B700*H700	700	700	1100	1000	11.0	2.0	1.00	0.27	5	1745
B800*H500	800	500	1200	1100	12.0	2.0	1.10	0.30	5	1700

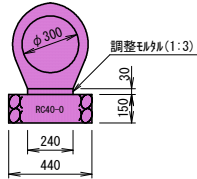
台 付 管 構 造 図 S=1:20

φ250



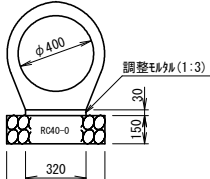
名 称	規 格	単 位	数 量
パイコン台付管	φ250型	個	5
調整モルタル	1 : 3	m3	0.06
基礎砕石	RC40-0 (15cm)	m2	4.0

φ300



名 称	規 格	単 位	数 量
パイコン台付管	φ300	個	5
調整モルタル	1 : 3	m3	0.07
基礎砕石	RC40-0 (15cm)	m2	4.4

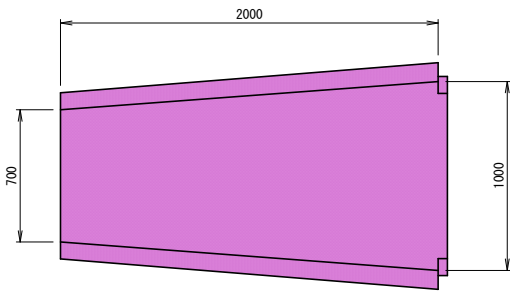
φ400



名 称	規 格	単 位	数 量
パイコン台付管	φ400	個	4
調整モルタル	1 : 3	m3	0.10
基礎砕石	RC40-0 (15cm)	m2	5.2

トランジションリ्यूム700型 S=1:20

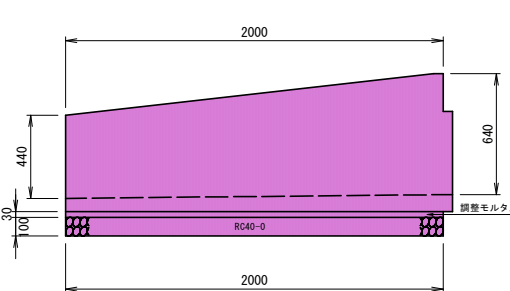
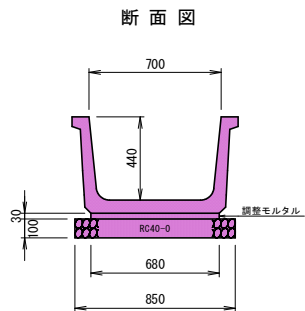
平面図



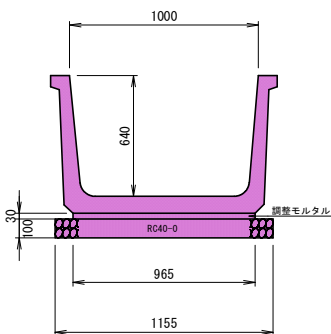
材 料 表

名 称	規 格	単 位	数 量
側溝本体	ジョイント型TF700型	個	10
調整モルタル	1 : 3	m3	0.49
基礎砕石	RC40-0 (10cm)	m2	20.1

側面図

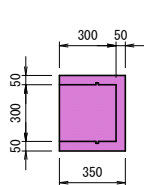


断面図

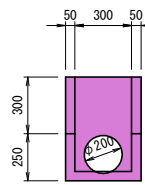


田面排水柵(1型) S=1:20

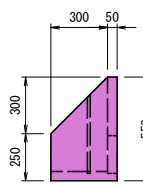
平面図



正面図



側面図

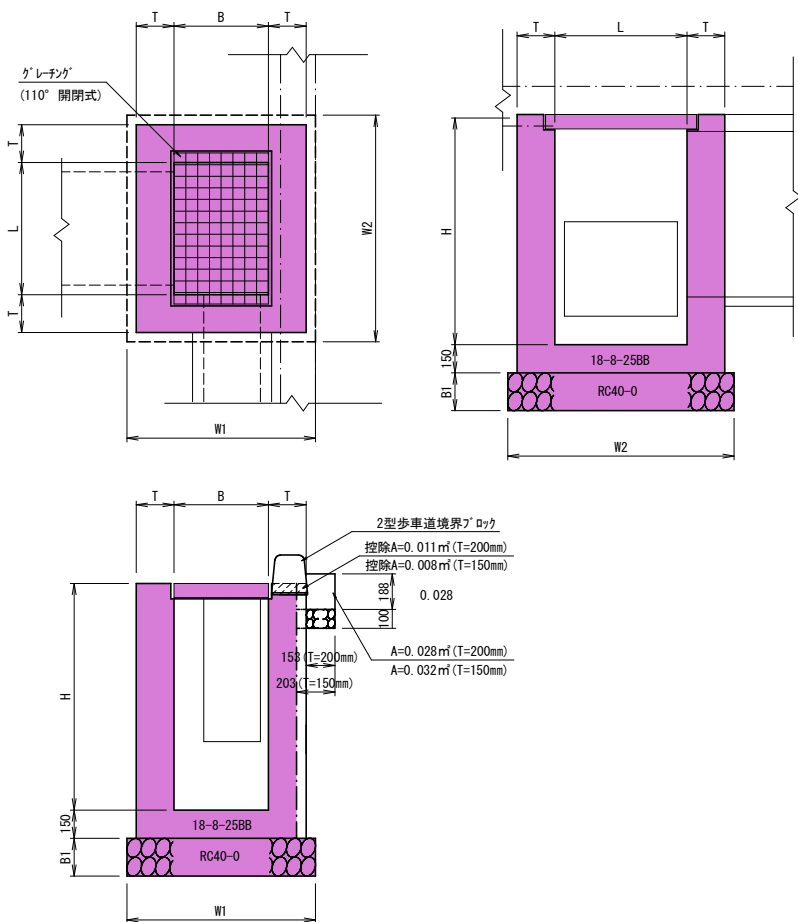


実施図

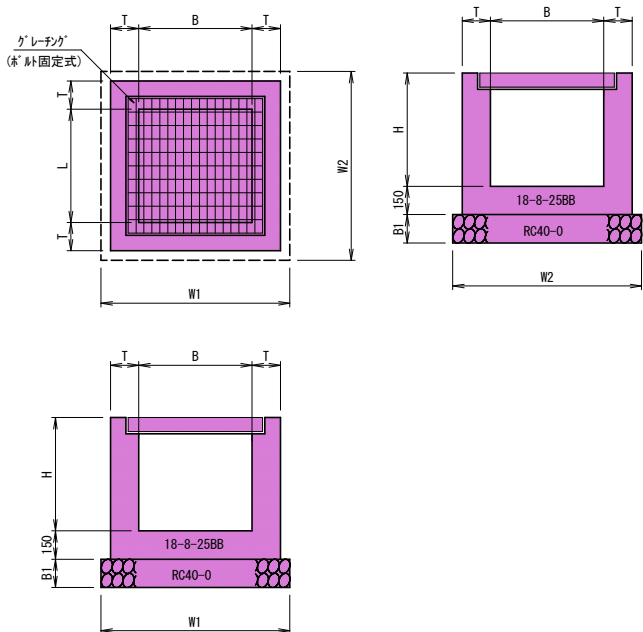
令和5年度 合併特例債事業 市道豊科2級3号線道路改良工事(2工区)				
番号	13 / 14	構造図 2	縮尺	図示
安曇野市 豊科高家				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

樹工構造図

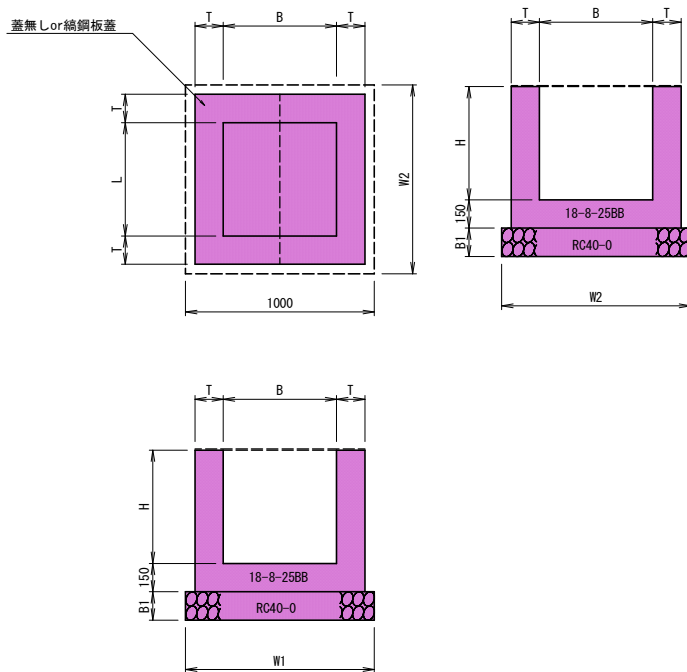
形式 1



形式 2



形式 3

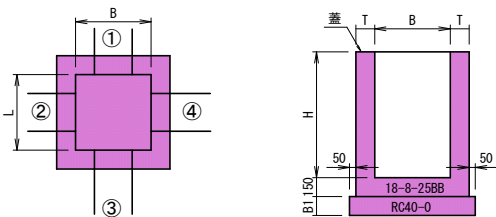


型名	B (mm)	L (mm)	H (mm)	T (mm)	B1 (mm)	樹天端高	①	②	③	④	樹蓋	樹形式	備考
37	400	600	650	150	150	EL=571.420	台付管φ300 EL=570.930	300×300 EL=570.954			ゲレチング 400×600 (T=25)	1	
39	900	900	1200	200	200	EL=571.410	BOX700×700 EL=570.400	300×300 EL=570.870	BF600 EL=570.470	300×300 EL=570.770	ゲレチング 900×900 (T=20)	2	
40	1400	1400	800	150	150	EL=571.150	TF700 EL=570.110		BOX700×700 EL=570.330			3	
42	400	600	750	150	150	EL=571.41	台付管φ300 EL=572.830	300×300 EL=571.020	台付管φ300 EL=570.830	300×300 EL=570.852	ゲレチング 400×600 (T=25)	1	

控除面積一覧表

名称	計算式	面積(m ²)
BF250	(0.285+0.35)×1/2×0.21	0.067
BF300	(0.34+0.40)×1/2×0.24	0.089
BF350	(0.39+0.47)×1/2×0.28	0.120
BF400	(0.445+0.54)×1/2×0.31	0.153
BF500	(0.545+0.66)×1/2×0.375	0.375
BF600	(0.64+0.76)×1/2×0.44	0.308
BF700	(0.75+0.88)×1/2×0.51	0.416
BF800	(0.845+0.98)×1/2×0.565	0.516
TF700	(1.055+1.20)×1/2×0.73	0.823

名称	面積(m ²)	備考
台付管φ250	0.112	※参照
台付管φ300	0.146	〃
台付管φ400	0.238	〃



樹工面積計算

37型樹	$0.7 \times 0.9 \times 0.8 - 0.4 \times 0.6 \times 0.65 - (0.146 \times 0.15 + 0.3 \times 0.3 \times 0.15) = 0.3126$	$V = 0.31m^3$
39型樹	$1.3 \times 1.3 \times 1.35 - 0.9 \times 0.9 \times 1.2 - (0.7 \times 0.7 \times 0.15 + 0.3 \times 0.3 \times 0.15 + 0.308 \times 0.15 + 0.3 \times 0.3 \times 0.15) = 1.1628$	$V = 1.16m^3$
40型樹	$1.7 \times 1.7 \times 0.95 - 1.4 \times 1.4 \times 0.8 - (0.823 \times 0.15 + 0.7 \times 0.7 \times 0.15) = 0.9806$	$V = 0.98m^3$
42型樹	$0.7 \times 0.9 \times 0.9 - 0.4 \times 0.6 \times 0.75 - (0.146 \times 0.15 + 0.3 \times 0.3 \times 0.15 + 0.146 \times 0.15 + 0.3 \times 0.3 \times 0.15) = 0.3162$	$V = 0.32m^3$

実施図			
令和5年度 合併特別債事業 市道豊村2線3号線道路改良工事(2工区)			
番号	14/14	樹工構造物	縮尺 図示
安曇野市 豊科高家			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			